

福井県高速交通開通 アクション・プログラム

別冊 (エリア別プロジェクト集)

平成28年3月策定
令和5年3月改定

趣 旨

この冊子は、「高速交通開通アクション・プログラム」に掲げた基本戦略を実行に移すため、エリア別に具体的なプロジェクトをとりまとめたものです。

県民が個々のプロジェクトを認識・共有できるようにするため、その実施主体、場所、事業費、事業期間、事業内容を、地図や工程表などにより分かりやすく図解しています。

各プロジェクトは、完成までに長期間を要する大規模事業が中心ですが、その整備効果を一年でも早く発揮できるよう長期的見通しをもって計画的に進めます。当面は、東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズの開催など国内外から多くの人々が訪れる機会が続くことから、それぞれの節目にあわせて、二次交通の拡充、都市や地域の基盤づくりを進めます。

こうした新しい基盤を活かすため、「福井県長期ビジョン」をはじめ、「ふくい観光ビジョン」や「FIRST291～北陸新幹線開業プラン～」、「福井経済新戦略」などに掲げる関連施策を一体的に実施します。

なお、この冊子は各プロジェクトごとに、これまでの施策の成果および今後実行する内容などをまとめたものです。今後の状況変化に応じて継続的に見直し、再開発事業など民間のプロジェクトも含めて追加・充実していきます。

県内外の主要日程・主なアニバーサリー（周年）

2016年度 （平成28年度）	2017年度 （平成29年度）	2018年度 （平成30年度）	2019年度 （令和元年度）	2020年度 （令和2年度）	2021年度 （令和3年度）	2022年度 （令和4年度）	2023年度 （令和5年度）	2024年度～ （令和6年度）
丸岡城築城440年 福井城築城410年	中部縦貫道延伸 （永平寺大野道路） 白山開山1300年	福井国体開催 明治維新150年	敦賀港開港120年	置県140年 恐竜博物館開館 20年 越前大野城築城 440年	東京オリンピック・ パラリンピック開催 一乗谷城下町建設 550年 蓮如、吉崎の坊舎 建立550年	中部縦貫道延伸 （大野・勝原間）※2 敦賀港線開通140年 欧亜国際連絡列車 開通110年	北陸新幹線 ※1 福井・敦賀開業 国道417号 冠山峠道路開通 中部縦貫道延伸 （勝原・九頭竜間）	中部縦貫道 県内全線開通 （2026春） 大阪・関西万博開催 ※2 （2025） あわら温泉開湯140年 （2024） ワールドマスターズ ゲームズ開催（2027） 新幹線大阪開業 （未定）

※1 「北陸新幹線の取扱いについて」（R2.12.16国土交通大臣） ※2 開通見通し公表（R3.4.27）

— 目 次 —

I 嶺北エリア

1	福井駅周辺エリア	1
	(1) 福井駅および駅周辺のまちづくり	(3)
	(2) 県都デザイン戦略の新展開	(5)
	(3) 一乗谷ミュージアム化の推進	(7)
	(4) 永平寺周辺の環境整備	(9)
	(5) 越前海岸の周遊観光ルート化	(12)
2	芦原温泉駅周辺エリア	14
	(1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり	(17)
	(2) あわら温泉街のまちなみ形成	(18)
	(3) 吉崎周辺の活性化	(19)
	(4) 東尋坊の景観形成	(20)
	(5) 三国湊の町家活用	(21)
	(6) 丸岡城周辺の周遊化・まちづくり	(22)
	(7) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大	(23)
3	越前たけふ駅周辺エリア	24
	(1) 越前たけふ駅および駅周辺のまちづくり	(26)
	(2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり	(27)
	(3) コンパクトな鯖江のまちづくり	(28)
	(4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化	(29)
	(5) 南条SAの集客力の活用および産業基盤の整備	(30)
	(6) 今庄宿の歴史空間の再生	(31)
	(7) 里山里海湖の保全・活用	(32)
	(8) 志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充	(33)
4	中部縦貫自動車道周辺エリア	34
	(1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備	(37)
	(2) ダイナソーバレーリゾートの形成	(38)
	(3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生	(41)
	(4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生	(42)
	(5) 六呂師高原の活性化	(43)
	(6) 化石資源の活用	(44)

II	若狭湾エリア		
1	新幹線敦賀駅周辺エリア	46	
	(1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり	(48)	
	(2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現	(50)	
2	新幹線小浜市附近駅周辺エリア	52	
	(1) 小浜駅を中心とした市街地の魅力向上	(54)	
	(2) 現市街地から新幹線駅周辺にかけてのまちづくり	(55)	
3	広域若狭湾エリア	56	
	(1) 若狭湾エリアの玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化（交通体系）	(60)	
	(2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用		
	①海湖と歴史を活かした交流の拡大（交流人口）	(62)	
	②若狭フード・コーストの形成（特徴発揮）	(67)	
	③自然環境の活用とエネルギー開発の共立（学術・研究の拠点戦略）	(70)	
	(3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致		
	①まちづくりや産業のプレイヤーの育成（人材育成）	(71)	
	②都市との交流を通じたライフスタイル先進地の形成（定住戦略）	(72)	
III	広域プロジェクト・ソフト施策	74	
	(1) 地域公共交通ネットワークの拡充	(76)	
	(2) 里山里海湖ビジネスの拡大	(77)	
	(3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信	(78)	
	(4) 里山里海湖の景観の保全・活用	(79)	
IV	市町等の応援方策	80	
V	近隣府県との連携プロジェクト	81	

凡 例 ※黒字は着手済みの事業 ※赤字は2023年度予算の新規事業等
 ※青字は、新幹線開業後も継続予定の事業

赤枠内は
 県および市町の2023年度
 実施事業の内容

I-1 新幹線開業対策 福井駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・県都デザイン戦略の第2期プロジェクトの具体化と実行(福井城址公園の整備、都市インフラのリニューアルなど)
- ・中世歴史遺産(一乗谷朝倉氏遺跡、永平寺門前)の魅力向上の加速化
- ・福井駅と周辺の拠点を結ぶ二次交通の強化

福井駅周辺の整備 (P3~4)

福井駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・福井駅西口・東口広場の整備
- ・福井市観光交流センターの整備
- ・自転車駐車場やシェアサイクルなど自転車利用環境の整備
- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ
- ・えちぜん鉄道の高架化
- ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸
- ・福井駅周辺での再開発(民間) など

県都デザイン戦略の実行 (P5~6)

福井城址を核に、歴史を活かした県都のまちづくりを実行

- ・山里口御門の復元
- ・中央公園の再整備
- ・グリフィス記念館の整備
- ・由利公正広場の整備
- ・足羽山ビジターセンターの整備 など

越前海岸の周遊観光ルート化 (P13)

越前海岸ラインを新しい観光ルートとしてネットワーク化

- ・北前船主館群の景観整備
- ・金ヶ崎周辺の整備
- ・里山里海湖の景観保全 など

広域道路等の整備促進

- ・国道8号 福井・石川県境部(牛ノ谷道路、金津道路 福井バイパス)
- ・福井港丸岡インター連絡道路
- ・国道364号 永平寺インター道路
- ・町道(仮称)永平寺インター線
- ・国道158号バイパス
- ・県道福井森田丸岡線
- ・道の駅「禅の里」など

松岡地区のまちづくり (P11)

松岡古墳群や松岡藩など歴史を活かしたまちづくり

- ・魅力発信交流施設えい坊館の整備
- ・レンタサイクルの整備 など

新しいライフスタイルに対応した拠点整備 (P12)

- ・テレワークスペース、コワーキングスペース
- ・旧傘松閣を利用した企業研修やイベント開催 など

一乗谷朝倉氏遺跡のレベルアップ (P7~8)

日本最大の戦国城下町跡として、「一乗谷ミュージアム」化を推進

- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館の整備
- ・山城部の環境整備や露出展示の実施
- ・展望所の整備や無電柱化の拡大
- ・中世都市遺跡研究の拠点化 など

永平寺周辺の環境整備 (P9~10)

本物の禅の心にもふれる体験観光の充実やまちなみの整備

- ・宿泊施設や観光案内所の整備
- ・旧参道や永平寺川の景観形成



○主な関連事業の年次計画

※ 黄色矢印は、新幹線開業後も継続

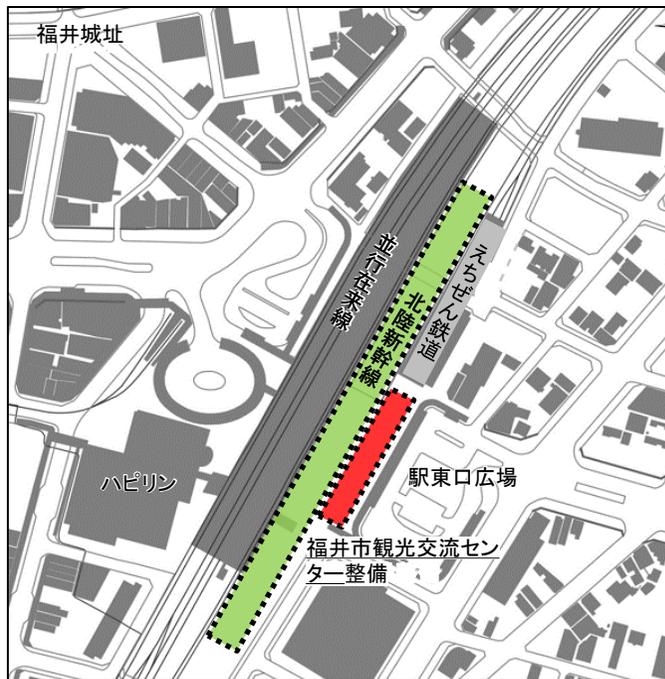
	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
福井駅	鉄道・運輸機構 約90億円	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験運転 等		
	福井市 約16億円	福井市観光交流センターの整備									
	県 約119億円	えちぜん鉄道の高架化							シェアサイクルの 整備・拡充		
	福井市 民間	駅東口広場等の整備			福井駅西口市街地再開発、市内循環路線の調査						
県・福井市・民間						県都グランドデザイン策定		県都グランドデザインの推進			
県都デザイン	県 約3億円	山里口御門の復元			福井城址活用方策の検討・とりまとめ、福井城址の利活用						
	福井市 約9億円	中央公園整備、市道県庁線等の整備			足羽山公園の整備						
	福井市										
朝倉氏乗 遺跡谷	県・福井市	一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の整備									
	県	特別名勝庭園の再生等、再整備計画の推進による遺跡全体の魅力向上									
	県						奈良文化財研究所との連携研究を通じた中世都市遺跡研究の拠点化				
永平寺	民間 約13億円	宿泊施設「柏樹關」の整備									
	県・永平寺町 約8億円	旧参道の整備、永平寺川の修景									
	永平寺町・民間 約2.5億円	自動走行システムの導入					自動運転移動サービスの実用化				
	県 約1億円	国道364号永 平寺インター 道路の整備		町道(仮称)永平寺インター線の整備							
	永平寺町 永平寺町						四季の森複合施設の整備				
広域	県・国	広域道路の整備促進									

1-1 (1) 福井駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・福井市・民間	場所	福井市
事業費	約556億円～	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・駅西口広場、再開発ビルの整備(市、2015) ・自然史博物館分館(ドームシアター等)の整備(市、2015) ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ(民間、2015～) ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸(民間、2015) ・新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) ・福井鉄道「福井城址大名町」電停の改良(民間、2017) ・駅東口広場等の整備(市、～2018) ・えちぜん鉄道の高架化(県、～2018) ・経済界が主体となり、県・市が参画する形で「県都にぎわい創生協議会」の設立(県、市、民間、2020) ・県都の将来像を描いた県都グランドデザインの策定(県、市、民間、～2022) ・JR福井駅および福井駅西口再開発ビル自転車駐車場のリニューアル ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) ・福井市観光交流センター(休憩・展示スペース等)の整備(市、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所の整備(市、～2023) ・魅力的なまちづくりに資する施設の改修支援や出店に対する相談対応等(県・市、2015～) ・福井駅周辺および新幹線福井駅東口拡張施設でのシェアサイクル整備(市、～2023) ・福井駅南側自転車駐車場の整備(市、～2023) ・中央大通り等、道路施設リニューアル(県、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間・行政による新幹線高架下の有効活用 ・公共施設の再配置等による市中心部への都市機能の再集約 ・福井駅南側自転車駐車場の整備(市) ・足羽川周辺のにぎわい創出や浜町～愛宕坂～足羽山の磨きあげ、多目的アリーナ整備など、県都グランドデザインの推進 ・福井駅西口の再開発

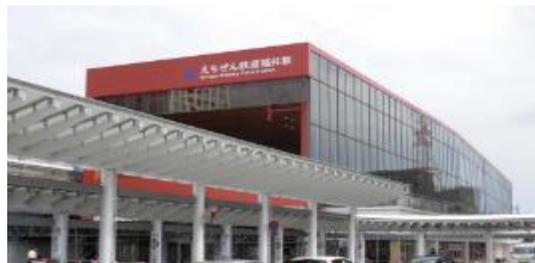
駅西口広場や西口再開発ビル整備、えちぜん鉄道の高架化など、新幹線開業に向けて福井駅周辺を整備します。



出所：福井県作成、福井市提供



北陸新幹線福井駅舎・福井市観光交流センター



えちぜん鉄道福井駅

新幹線駅舎デザインコンセプト 「悠久の歴史を未来へつなぐシンボルゲートとなる駅」

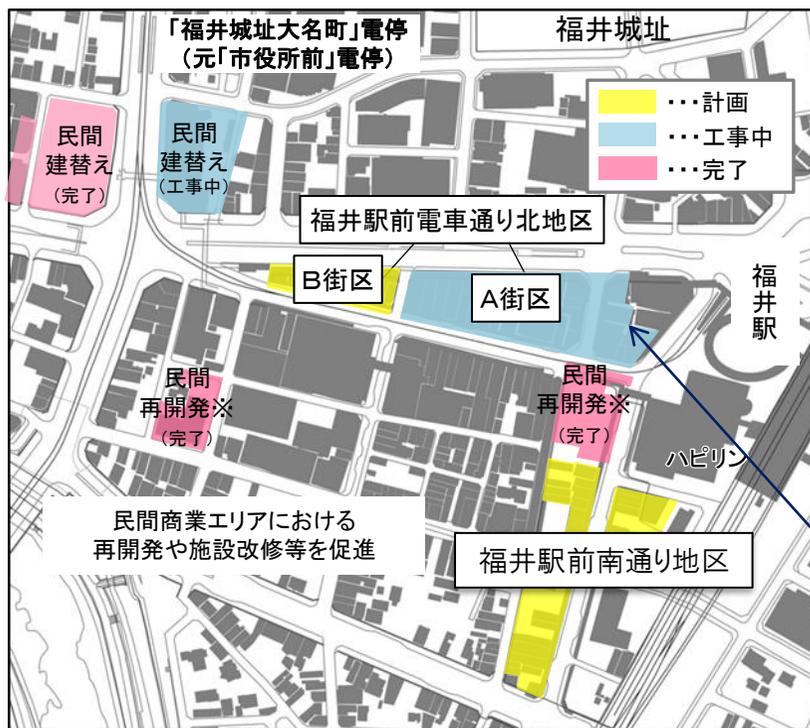
- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・県都グランドデザインに基づく福井駅周辺のまちづくり(県都グランドデザイン推進事業 18,336千円)
 - ・中央大通りのリニューアル(交通安全施設等整備事業 800,000千円)
- 2023年度実施事業【福井市】
 - ・福井市観光交流センターにおける観光案内所の整備運営(東口観光案内所準備事業 32,000千円)
 - ・景観形成等への支援(景観まちづくり事業 6,062千円)
 - ・駅前電車通り北側歩道の整備(まちなか回遊事業60,605千円の内数)

福井駅および駅周辺のまちづくり〔西口再開発〕

主体	民間	場所	福井市
事業費	未定	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 中央1丁目18番地区(ホテル)の再開発(民間、～2018) 福井銀行本店ビルの建替え(民間、～2020) 中央1丁目10番地地区(スーパー跡地)の再開発(民間、～2021) 	<ul style="list-style-type: none"> 織協ビルの建替え(民間～2023) 福井駅西口周辺での恐竜コンテンツ整備(県、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> 福井駅前電車通り北地区A街区・B街区の再開発(民間) 福井駅前南通り地区の再開発(民間) 県都まちなか再生ファンドによるリノベーション等支援(官民連携、2022～2026)

福井駅西口市街地において民間による大規模再開発と小規模なリノベーションを一体的に進めることで、県都の玄関口としてふさわしい空間や中心市街地のにぎわいを創出し、来街者や居住人口の増加や、まちなかの回遊性を高めます。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・福井市が支援する民間市街地再開発事業を支援(福井駅西口市街地再開発支援事業 1,433,349千円)
 - ・リノベーションの手法を活用した商業施設や個店の整備、商店街のミニ再開発を支援(官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業 290,000千円)
 - ・福井駅西口周辺での恐竜コンテンツ整備(恐竜エリア拡大プロジェクト 507,542千円※2022年2月補正前倒し分含む)
- 2023年度実施事業【福井市】
 - ・市街地再開発事業等の支援(市街地再開発事業等支援事業 6,401,639千円)
 - ・駅前電車通り北側歩道の整備〔P3再掲〕
 - ・景観形成等への支援〔P3再掲〕

事業名	福井駅前電車通り北地区A街区第一種市街地再開発事業
用途	商業、業務、ホール、住宅、ホテル、駐車場等
階数	ホテル棟：地上28階／住宅棟：地上28階
開業	2024年春(予定)



北地区A街区写真
(R5.2.21 ハピリン屋上より撮影)

出所：福井県作成、福井市提供 ※優良建築物等整備事業(区域は概ねの位置を示したもの)

県都デザイン戦略〔まちなか観光の推進〕

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・由利公正広場の整備(県、2013) ・グリフィス記念館の整備(市、2015) ・足羽山魅力向上計画の策定(市、2016) ・足羽山ビジターセンター、足羽山公園遊園地「ハピジャン」の整備(市、2018) ・ハピテラス、中央公園へのプロジェクションマッピングの整備(民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・足羽山公園(眺望スポット・駐車場・愛宕橋架け替え)の整備(市、2017～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・足羽山公園(園路)の整備(市、2017～) ・四季を通じた自然景観の形成など、足羽山の利活用 ・足羽川の賑わい創出・景観維持

幕末の偉人ゆかりの場所を回遊する散策ルートの魅力づくりを推進します。また、足羽川周辺の景観づくりやリノベーション等を通して、足羽川周辺に人やモノが集まり、賑わうエリアを創出します。



出所:「県都デザイン戦略」(福井県、福井市)、「足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想」(福井市)

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・足羽川の景観維持
((県単)河川維持修繕事業 160,000千円の内数)
((県単)河川局部改良事業 190,833千円の内数)
- 2023年度実施事業【福井市】
 - ・足羽山公園整備等(足羽山魅力向上事業 80,660千円)



福井市グリフィス記念館(浜町地区)



足羽山ビジターセンターの整備



足羽山公園遊園地「ハピジャン」の整備

1-1(3) 一乗谷ミュージアム化の推進

主体	県・福井市	場所	福井市
事業費	未定	期間	2014～

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・月見やぐら跡展望所の整備(県、2014) ・一乗谷・白山平泉寺の日本遺産認定(県・福井市・勝山市、2019) ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館オープン(県、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の再生(県、2016～) ・中世都市遺跡研究の拠点化(県、2016～) ・遺跡の受入環境整備(県・福井市・関係団体、2020～) 	

日本最大の戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡において、中世都市遺跡の研究拠点や新たな博物館の整備、一乗谷朝倉氏庭園の再生等を進め、遺跡全体をレベルアップします。



博物館外観(昼景)



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・国の研究機関と連携した遺跡保存技術の確立(一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業 24,059千円)
 - ・遺跡デジタル案内、遺跡内施設のキャッシュレス導入(一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業 8,000千円)

実施中の事業

(遺跡の整備)

復興町並の利活用促進

- ・施設の利用開放や実演展示の実施

遺跡の見える化の推進

- ・露出展示の推進(朝倉館跡)
- ・遺跡保存技術の確立に向けた奈良文化財研究所との連携研究

立体活用の推進

- ・山城部へのアクセスの整備

受入環境の推進

- ・遺跡内の無料Wi-Fiの整備

(周辺環境整備)

史跡と調和した自然景観の創造

出所:
福井県

一乗谷ミュージアム化の推進〔一乗谷朝倉氏遺跡博物館整備〕

主体	県	場所	福井市
事業費	未定	期間	2015～

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
・一乗谷朝倉氏遺跡博物館の整備(県、2022)		

遺跡観光のゲートウェイや中世都市遺跡の研究拠点となる一乗谷朝倉氏遺跡博物館を整備します。

<外観(夕景)>



外観イメージのコンセプト: 『夕景と追憶の「幻の館」』

構造: 鉄筋コンクリート造(一部、鉄骨)、階層: 2階、床面積: 約5,200㎡

<1階>

- ・ガイダンスゾーンで、遺跡の歴史的意義、全体像や見どころなど、遺跡見学に必要な基礎情報をわかりやすく提供
- ・「石敷遺構展示室」を設置し、大規模な石敷遺構を当時の再現映像などとともに紹介

<2階>

- ・「城下町一乗谷の人々と暮らし」、「戦国大名朝倉氏の歴史」、「華麗なる朝倉文化」、「朝倉館の再現」の4つのゾーンに分けて展開
- ・シンボル展示として、一乗谷の栄華を物語る「朝倉館」の原寸再現、戦国城下町の町並みや人々の営みを再現した巨大ジオラマを整備

<3つの目玉展示>



当時の人々の暮らしを再現した巨大ジオラマ



戦国大名の価値観や教養、朝倉文化を直に体験できる空間として「朝倉館」を原寸再現



川湊「一乗の入江」の道路あるいは船着場・荷上場に使われたと考えられる遺構をそのまま露出展示

1-1 (4) 永平寺周辺の環境整備

主体	県・永平寺町・民間	場所	永平寺町
事業費	約24億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装の高質化、商店街の外観統一(町、2011) 旧参道、観光案内所の整備(町、~2018) 永平寺川の護岸改修(県、~2018) 宿泊施設「柏樹關」の整備(民間、~2019) 禅の道(国道364号)の修景整備(県、~2018) 	<ul style="list-style-type: none"> 景観に配慮した門前まちづくり整備(民間、2022~) 	<ul style="list-style-type: none"> 門前地域による事業推進

国内外の知名度が高い永平寺において、外国人観光客に対応した宿泊施設整備を核として、旧参道の再生、永平寺川の修景などを一体的に行い、永平寺、永平寺町、県が協力して、禅(ZEN)を体感できる環境を整備します。



宿泊施設「柏樹關」

出所:「永平寺門前の再構築プロジェクト」(福井県ほか)

永平寺周辺の環境整備〔松岡地区のまちづくり〕

主体	永平寺町	場所	永平寺町
事業費	約2億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・えい坊館の整備(町、2016) ・多目的広場や散策路のサインの整備(町、2016) ・観光客回遊促進を目的としたレンタサイクルの整備(県・町・民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・えい坊館を拠点に、地域の歴史文化を巡る散策ツアーや、町の魅力を体感できるイベント等の開催(町・民間、2017～) ・松岡公園遊具整備(町、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の名所、松岡古墳群の登り口である松岡公園において、遊具等の整備を行うなどの機能向上

松岡藩当時の古町割や町家が残る松岡地区において、えい坊館を拠点に歴史文化や「禅」・九頭竜川の恵みの「食」「酒」を味わい・体感できるイベントやツアーを開催し、賑わいを創出します。



出所:「禅と食と酒の魅力味わいプロジェクト」(永平寺町)



旧織物会館の意匠を踏襲した魅力発信交流施設「えい坊館」の整備(2017年3月開館)

- ・地元物産品(ごま豆腐、地酒等)や地域ブランドSHOJINの販売
- ・演奏会や特産品販売会等、定期的なイベントの開催
- ・地域の食の提供
- ・地域の歴史・文化、生業等の紹介
- ・映像による観光情報発信



禅文化を体感する
プロジェクションマッピング
(常設・無料)
作品名「鳥道-黙坐」
制作者:チームラボ

永平寺周辺の環境整備〔新しいライフスタイルに対応した拠点整備〕

主体	永平寺町	場所	永平寺町
事業費	約2億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> IT拠点と交流の拠点として「永平寺町四季の森複合施設」を整備(国・町、2021～) 県内テレワーク施設の定額制サービスへの加入(町・民間、2021～) ワーケーションモニターツアーの開催(国・民間・町、2021～)(周辺交流拠点) レンガ館、禅の里「笑来」のレンタサイクルなど周遊環境の整備(民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> 企業研修の開催(町、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ワーケーションの拠点としての活用

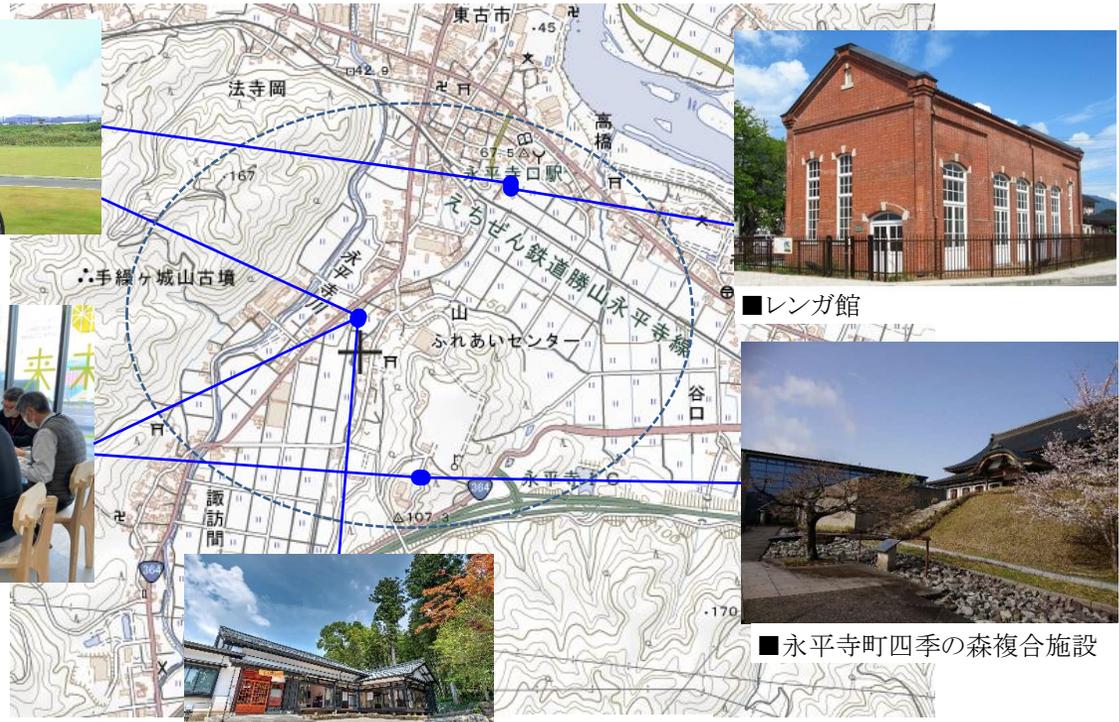
仕事と生活の新しい調和、IT人材や企業の誘致、新規起業者への支援を図るため、拠点となる「永平寺町四季の森複合施設」を整備。周遊環境も整備し、関係人口の拡大や交流による地域活性化につなげていきます。



■ レンタサイクル



■ ワーケーション



■ レンガ館



■ 永平寺町四季の森複合施設



■ 禅の里笑来

○ 2023年度実施事業【永平寺町】

- 四季の森複合施設の整備
- 交流拠点としての活用促進



テレワークスペース



コワーキングスペース



旧傘松閣



2階スペース

1-1 (5) 越前海岸の周遊観光ルート化

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の整備(市町) ・国民宿舎鷹巣荘のリニューアル(福井市、2014) ・観光案内所の整備(右近家離れ改修)(南越前町、2015) ・北前船主通りの景観整備(南越前町、～2016) ・北前船寄港地・船主集落の日本遺産認定(市町、2017) ・越前海岸や水仙畑を眺望できる視点場の整備(越前町、2019) ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定(市町、2020) ・鉄道遺産の日本遺産認定(市町、2020) ・道の駅「パークイン丹生ヶ丘」のリニューアル(越前町、2019～2021) ・重要文化的景観解説板の整備(越前町、2021～2022) ・重要文化的景観解説板の整備(南越前町、2021～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、2016～) ・三国湊の町家活用・修景支援(坂井市、2006～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・金ヶ崎周辺整備の調査検討(県・敦賀市、2022～) ・北前船主中村家住宅大規模改修(民間、2018～)

北前船寄港地の敦賀湊と三国湊には、独自の食文化や船筆笥などの手工業が育まれてきました。また、日本の棚田百選「梨子ヶ平地区」の千枚田や越前水仙群生地、呼鳥門をはじめとする景勝地、旧北陸線の隧道(トンネル)群、温泉など、越前海岸線は約80kmの間に多様な魅力を有します。こうした地域資産をネットワーク化し、越前海岸ラインを新しい観光ルートとして発信します。

北前船の歴史



みくに龍翔館のリニューアル



北前船主 中村家住宅
(2016年～ 特別公開)

「越前海岸の水仙畑」が重要文化的景観に選定



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・北前船主中村家住宅大規模改修への支援(文化財保存修理等補助金交付事業 3,704千円)
 - ・重要文化的景観整備計画策定への支援(文化的景観保護推進事業 574千円)
- 2023年度実施事業【市町】
 - ・北前船主中村家住宅大規模改修への支援【南越前町】(中村家住宅保存・活用事業 21,860千円)
 - ・重要文化的景観整備計画策定【福井市】(文化的景観保護推進事業 672千円)

I-2 新幹線開業対策 芦原温泉駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・芦原温泉駅の二次交通や情報発信機能、物販・宿泊等の商業機能の拡充
- ・東尋坊、あわら温泉に続く観光拠点の創出(吉崎御坊、北潟湖、丸岡城など)
- ・農業用水路のパイプライン化を活かした農業や園芸の拡大

情緒あふれる温泉街の形成 (P18)

大正から昭和初期の風情を感じる温泉街の散策環境を整備

- ・「芦湯」や藤野巖九郎記念館の整備
- ・石畳歩道や行灯型街路灯の整備 など

東尋坊の環境整備 (P20)

「環境共生」を基本理念とした持続可能な東尋坊エリアの形成

- ・駐車場一元管理に向けた整備
- ・観光拠点施設の整備(ビジターセンター、交通ステーション等)
- ・商店街活性化の推進
- ・散策路の整備
- ・アクティビティの形成

三国湊のまちづくり (P21)

三国湊の歴史・文化の発信、空き町家を活用した古い町並みの再生

- ・古民家ゲストハウスやアーバンデザインセンター坂井等の整備
- ・三国駅改築・広場整備
- ・みくに龍翔館のリニューアル など

公共交通の拡充

- ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ

越前海岸の周遊観光ルート化【再掲】

広域道路の整備促進

- ・国道8号 福井・石川県境部(牛ノ谷道路、金津道路 福井バイパス)
- ・三国東尋坊芦原線
- ・福井港丸岡インター連絡道路 など

吉崎周辺の活性化 (P19)

市北部の拠点となる道の駅を整備

- ・駐車場やトイレ、地域振興施設等の整備
- ・吉崎公園の改修 など

芦原温泉駅の周辺整備 (P17)

芦原温泉駅周辺の整備や公共交通の利便性を向上

- ・交流拠点施設「aキューブ」の整備
- ・西口・東口広場、立体駐車場の整備 など

丸岡城周辺の周遊化・まちづくり (P22)

- ・丸岡城周辺のまちなみ整備
- ・丸岡バスターミナル周辺整備 など

パイプライン活用型の農業・園芸拡大 (P23)

- ・米や園芸生産物の生産拡大
- ・福井県立大学創設農学科の開設 など



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024 (R6)	2025 (R7)
芦原温泉駅	鉄道・運輸機構 約61億円	駅舎デザイン コンセプト提案(市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験運 転等		
	あわら市 約20億円	芦原温泉駅西口賑わい施設(賑わい空間)等の整備									
	県・あわら市 —	西口アクセス道路、東口アクセス道路、東西自由通路、芦原温泉停車場線、芦原温泉停車場北野線の整備									
	あわら市 —	西口交通広場、東口交通広場、西口立体駐車場の整備									
東尋坊・三国港	県 —	三国東尋坊芦原線 (三国町崎～梶)									
	県・坂井市・民間 —			東尋坊活性化検討	東尋坊再整備計画	東尋坊再整備					
	坂井市 約1億円	町家活用(旧大木道具店、アーバンデザインセンター坂井)									
	坂井市 —	みくに龍翔館のリニューアル									
	坂井市 —	三国駅改築および広場整備									
坂井市 —	観光地における外国人受入環境整備(外国語表記や公衆無線LAN環境、トイレ洋式化)										
あわら温泉	あわら市 約2億円	街路整備									
	あわら市・民間 —	温泉街における外国人受入環境整備(外国語表記や公衆無線LAN環境、キャッシュレス化)									
吉崎エリア	あわら市 —					道の駅基本計 画策定	基本設計 実施設計				
	県・あわら市 約6.2億円							道の駅整備	供用開始		
	あわら市 約0.2億円							吉崎汀公園改修			
	あわら市・民間 —	吉崎小学校利活用計画		吉崎小学校利活用検討		全天候型遊戯施設開設					

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
丸岡城	坂井市 — 坂井市 約6億円	丸岡城周辺の整備									
		丸岡バスターミナル周辺の整備									
広域	県 約3.9億円 — 県 — 県・国 —	福井県立大学創造農学科の開設									
		パイプライン活用による農業・園芸拡大									
		広域道路の整備促進									

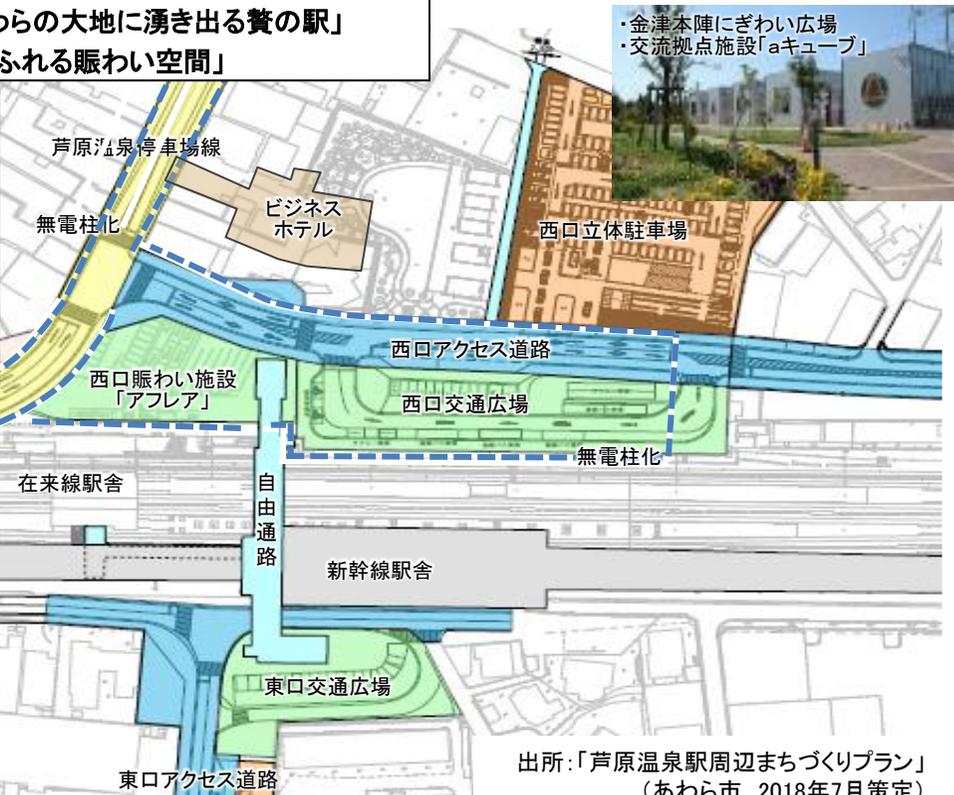
1-2 (1) 芦原温泉駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・あわら市	場所	あわら市
事業費	約73億円	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・「aキューブ」、ポケットパークの整備(市、2014) ・現駅構内のエレベータ設置(JR、2015) ・駅周辺整備基本計画の改定(市、2016) ・新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) ・駅周辺まちづくりプランの策定(市、2018) ・西口立体駐車場の整備(市、～2021) ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) ・西口賑わい施設、西口交通広場、東西自由通路の整備(市、～2022) ・アクセス道路の整備(県・市、～2022) ・ビジネスホテルの建設(民間、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・東口交通広場、アクセス道路の整備(市、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺観光地との二次交通の充実 ・駅周辺の賑わいの創出

福井県の北の玄関口にふさわしい芦原温泉駅を整備するとともに、東西広場やアクセス道路、周辺観光地との二次交通の充実など、地域交通の拠点化を進めます。

新幹線駅舎デザインコンセプト「あわらの大地に湧き出る贅の駅」
駅周辺まちづくりコンセプト「和心あふれる賑わい空間」



○ 2023年度実施事業【あわら市】
 ・東口交通広場、アクセス道路整備 等
 (芦原温泉駅周辺整備事業 30,000千円)



金沢方面

出所:「芦原温泉駅周辺まちづくりプラン」
 (あわら市 2018年7月策定)

1-2 (2) あわら温泉街のまちなみ形成

主体	あわら市	場所	あわら市
事業費	約2億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・藤野巖九郎記念館、伝統芸能館の整備(市、2011) ・「芦湯」の整備(市、2013) ・駅前ポケットパーク、駅南口駐車場整備(市、2014) ・温泉南北線・東西線の歩道の石畳化、行灯型照明の整備(市、2016) ・あわら湯のまち駅公衆便所の整備(市、2021) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あわら温泉・永平寺間の特急バスの運行(市・民間、2017～) ・宿泊施設における受入環境の整備(県・市町・民間、2019～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏・インバウンド客向けの観光プロモーションの推進 ・あわら温泉の観光資源の磨き上げに資する環境整備

まち歩きが楽しめる北陸随一の温泉街とするため、湯のまち広場の「芦湯」や街路の整備など、温泉情緒を感じるまちなみを形成します。

○ 2023年度実施事業【あわら市】

- ・外国人観光客受入環境整備を支援(外国人観光客受入環境整備事業 100千円)

整備後

(南北線) 石畳歩道整備、街路灯整備

整備後

(南北線) 石畳歩道整備 街路灯、行灯照明整備

南北線の整備

多言語表記の整備

整備後

(えち鉄沿い) 既設歩道の修景整備 街路灯整備

整備後

清風荘前

整備後

(えち鉄沿い(清風荘前)) 歩道新設、街路灯整備

整備後

「芦湯」の整備

出所:「温泉情緒あふれる華やぎのあるまちづくりプロジェクト」(あわら市)

1-2(3) 吉崎周辺の活性化

主体	県・あわら市	場所	あわら市
事業費	約6.4億円	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 越前加賀県境の館の整備(加賀市・市、2015) 休校吉崎小学校利活用計画策定(市、2018) 吉崎まちあるきツアーの造成(市・民間、2019～) 道の駅「蓮如の里あわら」基本計画の策定(市、2021) 吉崎小学校を利用した全天候型遊戯施設「あそぼっさ」の開設(市・民間、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「蓮如の里あわら」の整備(県・市、～2023) 吉崎汀公園場内改修(市、～2023) 蓮如上人記念館の改修(民間、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺観光地との二次交通の充実 道の駅出荷者協議会の運営 サイクルツーリズムの推進 吉崎小学校を利用した全天候型遊戯施設「あそぼっさ」の運営

かつて県内有数の観光地であった吉崎に市北部の拠点となる道の駅を整備するとともに、市と地元関係者が一体となって吉崎及び周辺一帯の魅力度アップ・活性化を図ります。



道の駅蓮如の里あわら
(イメージ)



越前加賀県境の館



全天候型遊戯施設「あそぼっさ」

出所:「道の駅「蓮如の里あわら」基本計画」より(あわら市)

1-2(4) 東尋坊の景観形成

主体	県・坂井市・民間	場所	坂井市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の道路の石畳舗装や無電柱化(県、2011) ・観光交流センターの設置(市、2011) ・坂井あわらエリア周遊チケット造成・利用拡大(市・民間、2017～) ・東尋坊再整備基本計画策定(市、～2020) 		<ul style="list-style-type: none"> ・東尋坊エリアの再整備(県・市・民間、2020～) ・東尋坊～雄島～越前松島エリアの観光客受入環境整備(市、2020～)

県内最大の観光地である東尋坊において、県、坂井市、地元関係者が一体となって魅力度アップ・活性化を図り、再整備を行います。



出所「三国探索マップ」(坂井市三国観光協会)、坂井市ホームページより

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・坂井市が行う東尋坊活性化事業への支援(東尋坊活性化支援事業 222,572千円)
- 2023年度実施事業【坂井市】
 - ・東尋坊エリアの再整備(東尋坊再整備事業)
 - ・東尋坊～雄島～越前松島エリア観光客受入環境整備(観光地魅力向上整備支援事業)

- ### 東尋坊再整備基本計画
- ・東尋坊観光の拠点施設となるビジターセンターの整備
 - ・バス、自動車など複数の移動手段の結節点となる交通ステーションの整備
 - ・駐車場の集約・一元化
 - ・既存商店街の再整備および新たな商店街の整備
 - ・散策路の整備
 - ・新たなアクティビティの創出



東尋坊商店街の再生(イメージ)



遊歩道やビューポイントの整備(イメージ)

1-2 (5) 三国湊の町家活用

主体	坂井市・民間	場所	坂井市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・道路美装化(市、~2014) ・古民家ゲストハウスや店舗(旧大木道具店等)、ポケットパーク等の整備(市、~2018) ・小松長生氏生家のリノベーション(民間、2015) ・アーバンデザインセンター坂井の整備(市、2017) ・えちぜん鉄道三国駅舎の改築(市、2017) ・三国駅前広場の整備(市、~2020) ・文化財保存活用地域計画の策定(市、~2022) ・みくに龍翔館(新名称:坂井市龍翔博物館)のリニューアル工事(市、~2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・民家の修景支援(市、2006~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存活用事業の実施(市、2022~)

北前船の寄港地として栄えた三国湊において、町家を再生して趣を感じるまちなみを形成します。



坂井市全体の博物館として
みくに龍翔館をリニューアル

○ 2023年度実施事業【坂井市】

- ・坂井市龍翔博物館のリニューアルオープン
- ・文化財保存活用地域計画の事業実施

三国湊のまちなみ再生



アレックス・カー氏監修の古民家
ゲストハウス



えちぜん鉄道三国駅舎の整備

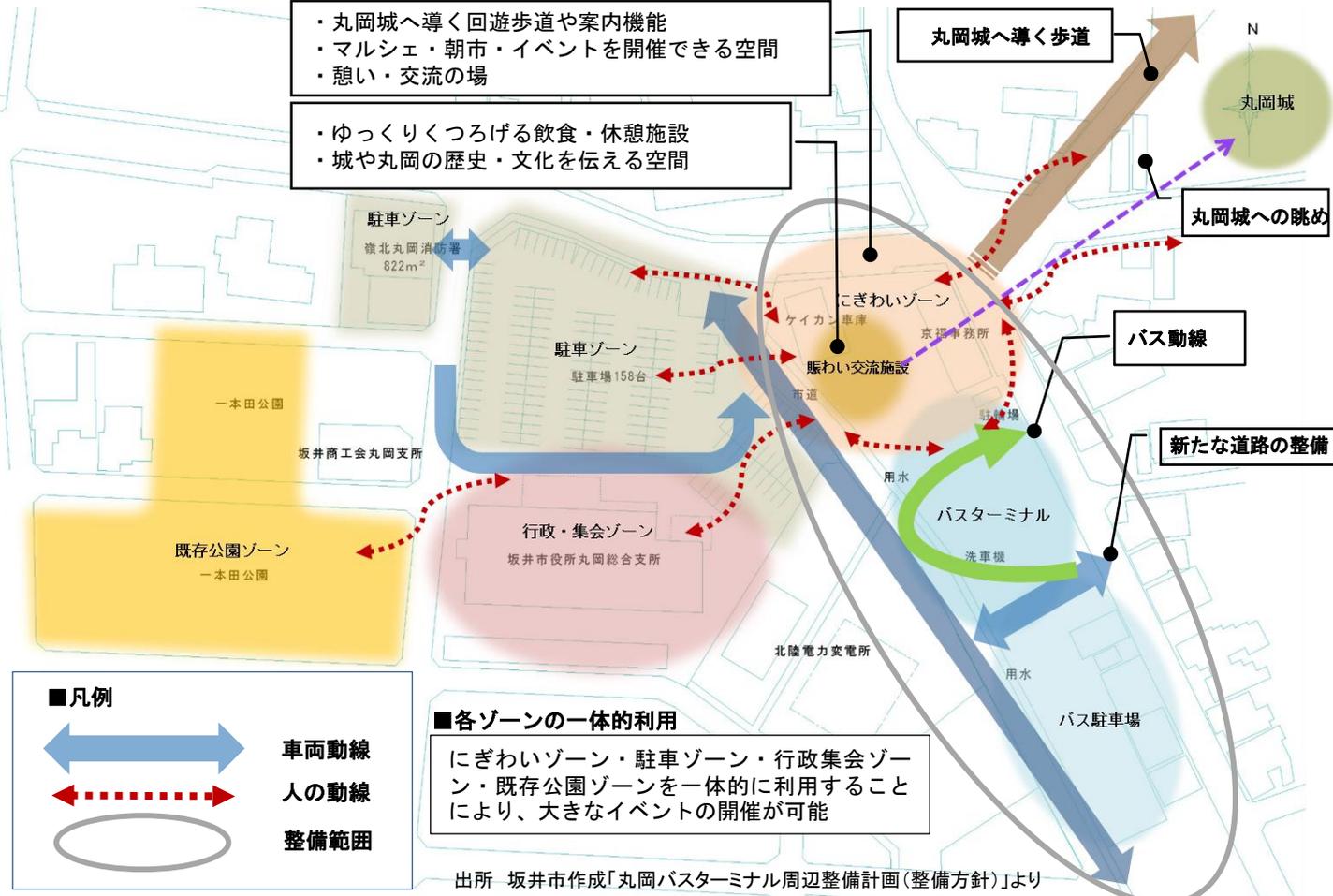
出所「三国湊町家活用プロジェクト」(坂井市)、「三国探索マップ」(坂井市三国観光協会)、
坂井市ホームページ

1-2(6) 丸岡城周辺の周遊化・まちづくり

主体	坂井市	場所	坂井市
事業費	約10億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 丸岡城の国宝指定に向けた調査(市、~2018) 丸岡バスターミナル周辺の整備(市、~2020) 丸岡城、天守前広場へのプロジェクトマップの整備(県・市、2020) 		<ul style="list-style-type: none"> 丸岡城周辺や城下町を含めた城郭全体の歴史的価値を高めるための調査研究の推進 丸岡城と丸岡バスターミナルを繋ぎ、街なか周遊の仕組みと賑わいの創出 丸岡城周辺整備事業(県・市、2022~)

丸岡城周辺や城下町を調査・研究し、城郭全体の歴史的価値を高めます。また、丸岡バスターミナルに交流施設や広場を整備し、丸岡城までのまち歩きをするための拠点とするとともに、丸岡城周辺に賑わいを創出します。



○ 2023年度実施事業【坂井市】

- 丸岡城周辺整備事業(丸岡城周辺整備事業)
- 起業促進のための空き家改修(空き家等改修事業)



丸岡城



丸岡バスターミナルの賑わい交流施設

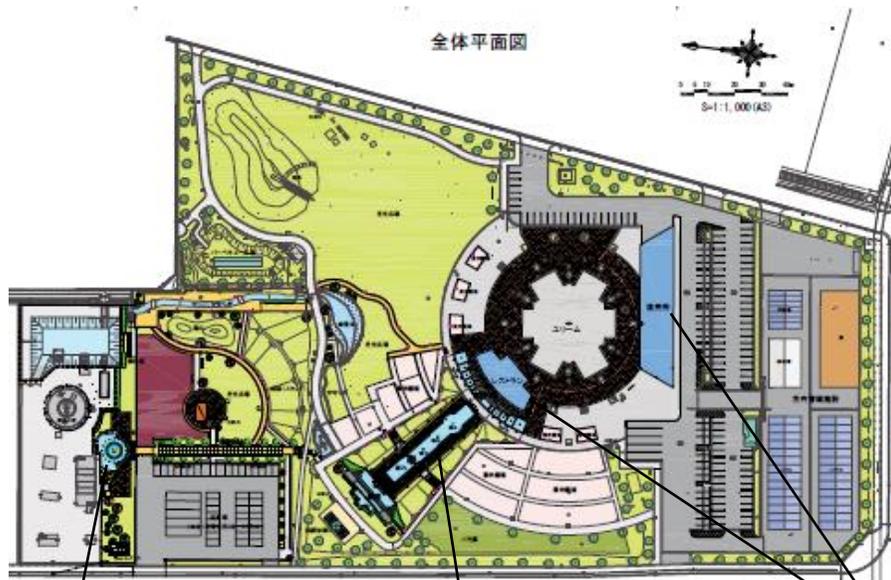
出所 坂井市作成「丸岡バスターミナル周辺整備計画(整備方針)」より

1-2 (7) パイプライン活用型の農業・園芸の拡大

主体	国・県・坂井市	場所	坂井市
事業費	約6億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・九頭竜川下流地域パイプラインの整備 (国、～2015) ・ゆりの里園内水路や散策道、農産物直売所、レストランの整備(市、～2017) ・道の駅さかい農産物の情報発信ターミナルの整備(市、2019) ・福井県立大学創造農学科の開設(県、～2020) ・イルミネーションエリアの拡大、プロジェクトンマッピングの整備(県・市、2020) 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプラインを活用した米や園芸生産物の生産拡大とブランド化(県、2016～) ・キャベツ、ブロッコリー等の機械整備による儲かる園芸の拡大を支援(県・市町、2020～) ・ゆりの里公園内(調圧水槽含む)のプロジェクションマッピング及びライトアップの実施

パイプライン化の完了を受けて、高食味米の生産や水田園芸の拡大など、収益性の高い農業への転換を進めます。また、ゆりの里公園の調圧水槽をライトアップするとともに、農産物の直売所や農家レストランにおいて、地域の特産物を提供するなど、坂井エリア一帯のブランド化を推進します。さらに、道の駅さかいにおいて、直売所機能を拡充します。



出所 坂井市作成

- 2023年度実施事業【福井県】
- ・園芸産地の拡大、水田を活用した園芸スマート農業による水田農業の規模拡大などを支援(儲かるふくい型農業総合支援事業 213,387千円)
 - ・福井県立大学創造農学科での人材育成等(県立大学運営費交付金 162,235千円)



ライトアップされる調圧水槽や、水路内のイルミネーション



農産物直売所“ゆりのち”



レストラン“Café Lily”

○調圧水槽、公園内水路のライトアップ

○ゆりの里公園の園内整備
調圧水槽を活用した公園内の水路整備、散策道整備等

○農家レストラン、農産物直売所の整備

I-3 新幹線開業対策 越前たけふ駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・伝統工芸を核とした産業と観光の一体的振興
- ・越前たけふ駅と周辺市町、観光地との道路や公共交通ネットワークの整備

水仙ランド周辺の景観づくり (P32)

越前海岸の景観を活かした観光名所形成

- ・絶景ポイントの整備
- ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定 など

鯖江駅の周辺整備 (P28)

鯖江駅～西山公園など主要施設の動線整備

- ・SDGsを研究・発信する「さばえSDGs推進センター」の整備
- ・鯖江駅観光案内所への地場産業PRブース整備
- ・市内交通網の再編、JR鯖江駅の利便性向上
- ・サテライトオフィスの整備
- ・商業エリアの個店改修 など

武生駅の周辺整備 (P27)

武生駅から蔵の辻、総社などにつながる歴史のシンボルロード軸を形成

- ・ダンス町通りの整備
- ・市役所新庁舎、庁舎前ひろばの整備
- ・武生中央線の再整備 など

越前たけふ駅の周辺整備 (P26)

越前たけふ駅および周辺整備

- ・駅西交通広場、道の駅等の整備
- ・アクセス道路の整備 など

北前船の歴史空間の再生 (P13)【再掲】

北前船の歴史を核としたまちなみを整備

- ・右近家離れの再整備
- ・北前船主通りの舗装高質化
- ・北前船主中村家住宅大規模改修
- ・馬借街道のトレイルコース整備 など

志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充 (P33)

- ・ツリーピクニックアドベンチャーいけだの拡充
- ・「フォーシーズンテラス」(仮称)の整備
- ・渓流温泉冠荘リニューアル

越前海岸の周遊観光ルート化【再掲】

今庄宿の歴史空間の再生 (P31)

宿場町や鉄道のまちの風情が感じられる町並みの保存、景観整備

- ・北国街道の道路舗装の高質化 など

越前ものづくりの里プロジェクト (P29)

伝統工芸の産地における拠点や産地全体の連携拠点を整備

- ・サンドーム福井の再整備
- ・越前古窯博物館の整備
- ・漆器工房の見える化
- ・紙の文化博物館の再整備
- ・越前打刃物振興施設の整備
- ・越前算笥会館の整備
- ・越前陶芸村活性化施設の整備 など

広域道路の整備促進

- ・国道476号 持越バイパス、白栗バイパス等
- ・国道417号 冠山峠道路、(仮称)新板垣トンネル等

南条SAの周辺整備 (P30)

南越駅SAおよび周辺整備

- ・道の駅「南えちぜん山海里」の整備
- ・観光農園の整備 など



○主要関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)	
越前 たけふ 駅	鉄道・運輸機構 約69億円 県・越前市 — 越前市 —	駅舎デザイン コンセプト提案 (市)	駅舎基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験運 転等			
		駅西交通広場、道の駅等の整備、アクセス道路整備				南越前周辺まち づくり計画	新幹線駅周辺まち づくりガイドライン	新幹線駅の基本機能導入、土地利用エリアの段階的開発				
武生 駅	越前市 約70億円 越前市 約0.2億円 県・越前市 約0.7億円 越前市 約6億円 越前市 約4億円	新庁舎の整備			庁舎前ひろば整備							
		タンス町通りの整備			商業エリアの個店改修				武生中央公園屋内催事場の整 備紫式部公園の再整備	紫式部公園の修景整備	武生中央公園大型遊具等整備	
鯖江 駅	県・鯖江市・民間 — 鯖江市 — 県・鯖江市 約1億円	鯖江駅周辺の整備										
		商業エリアの個店改修	市内交通網の再編 コミュニティバス			JR鯖江駅の利便性向上						
もの づくりの 里	県 約4億円 県 約8億円 越前市 約2億円 越前市 約3億円 越前市 約0.2億円 県・鯖江市 約3億円 越前町 —	サンドーム福 井の再整備	越前古窯博物館整備									
		紙文化博物館整備	越前打刃物振興施設の整備									
		筆筭会館の整備			ラポーゼかわだ再整備				越前陶芸村活性化施設の整備			
旧街道・ 県境	南越前町 約7億円 越前町 約1億円 池田町 — 国 約57億円(県想定)	今庄宿の整備										
		水仙ランドの整備	視点場の整備		水仙ランド周辺の景観づくり							
		志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充										
		国道417号 冠山峠道路								(R5年内開通見通し)		
広域	県・国 —	広域道路の整備促進										

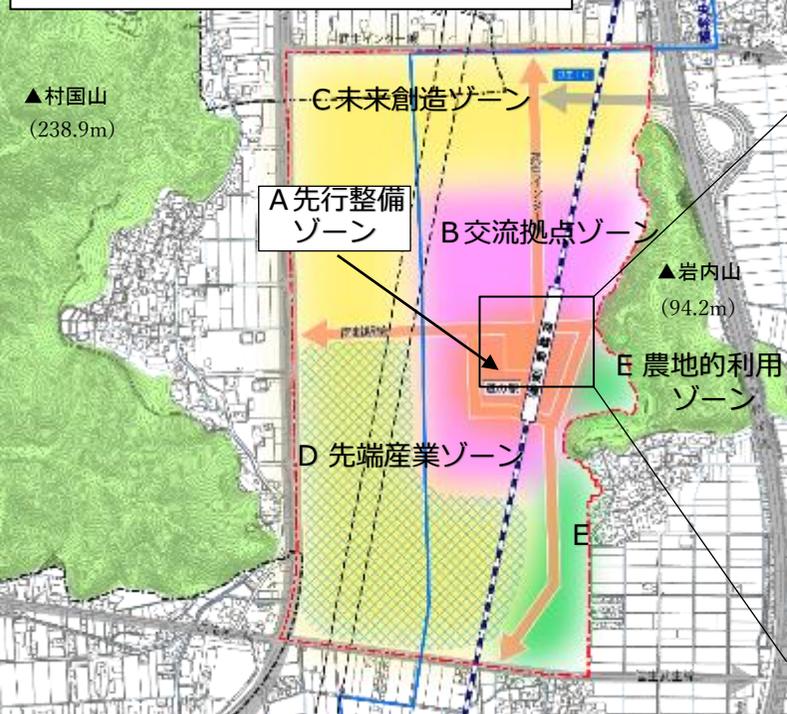
1-3 (1) 越前たけふ駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・南越駅周辺整備基本計画の策定(市、2015) ・新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) ・南越駅周辺まちづくり計画の策定(県・市、2019) ・新幹線駅周辺まちづくりガイドライン策定(市、2020) ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) ・東西・南北アクセス道路の整備(県、～2022) ・越前たけふ駅の駅西交通広場、道の駅等の整備(市、～2022) 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地や周辺観光地との二次交通の確保 ・道の駅を中心とした駅周辺の賑わい創出 ・越前たけふ駅周辺整備の推進(市、2021～)

新駅となる越前たけふ駅を整備するとともに、駅西交通広場や道の駅、アクセス道路等を整備します。

越前らしさを実現する土地利用ゾーニング



駅舎デザインコンセプト
「伝統・文化を未来につなぐシンボルとしての駅」



北陸新幹線越前たけふ駅舎

○ 2023年度実施事業【越前市】
 ・高次機能の集積に向けた着実な企業立地の推進
 (越前たけふ駅周辺整備推進事業 5,000千円)

出典: 南越駅周辺まちづくり計画(越前市)より

1-3 (2) 越前国府の歴史・文化が息づくまちづくり

主体	県・越前市	場所	越前市
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・蔵の辻広場の整備(市、2001) ・武生中央公園の再整備(市、～2018) ・ちひろの生まれた家記念館の整備(市、2017) ・市民プラザたけふの整備(市、～2019) ・ダンス町通りの整備(市、2019) ・市役所新庁舎・庁舎前ひろばの整備(市、～2020) ・武生中央線の再整備(県、2020) ・武生中央公園屋内催事場の整備(市、～2021) ・北府駅鉄道ミュージアムの整備(県・市、～2022) ・武生中央公園大型遊具等整備(市、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部公園の修景整備(市、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか観光サイン整備事業

武生駅周辺には、古代から国府や国分寺、府中城などが置かれ、長く地域の政治・経済の中心地でした。駅周辺に新庁舎を配置し、武生駅から蔵の辻、総社などにつながる歴史のシンボルロード軸を形成し、新しい中心市街地づくりをめざします。



出所「本庁舎建設基本構想・基本計画」(越前市)

○ 2023年度実施事業【越前市】
 ・紫式部公園の修景整備
 (公園整備事業 25,160千円)



市役所新庁舎



大正～昭和初期の木造建築物の再生(蔵の辻)

1-3 (3) コンパクトな鯖江のまちづくり

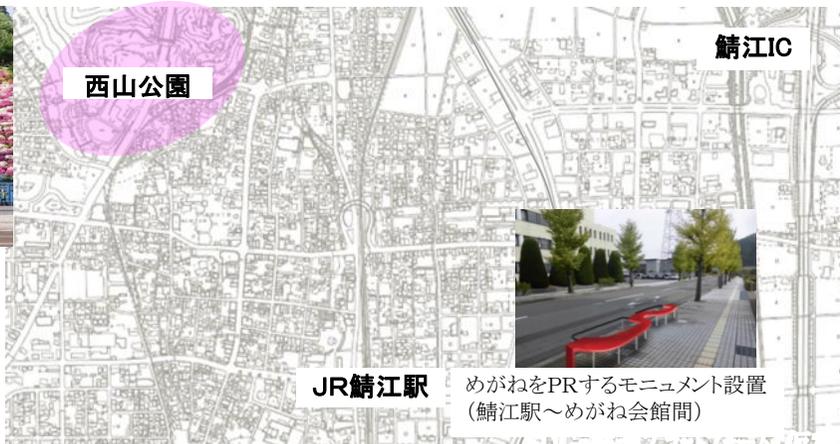
主体	県・鯖江市	場所	鯖江市
事業費	未定	期間	未定

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入(市、2012) ・学生による滞在型まちづくり活動の実施(市、2013～) ・道の駅「西山公園」の整備(県、2014) ・鯖江駅周辺の景観整備(市、～2017) ・個店の改修等への支援(県・市、～2018) ・さばえSDGsセンターの整備(市、2020) ・鯖江駅観光案内所の充実(市、2020) 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江駅と西山公園などを結ぶ動線づくり ・JR鯖江駅の利便性向上への取り組み ・鯖江IC高速バスターミナルの機能拡充への取り組み ・サテライトオフィスの誘致 ・鯖江駅前線の無電柱化(県、2021～)

鯖江駅と市内最大の観光地である西山公園など主要施設を結ぶ動線を整備し、市内への人の流れを拡大します。また、オープンデータやITをまちづくりに積極的に取り入れ、行政サービスの向上を図るなど、若者が住みたくなるまちをめざします。



道の駅「西山公園」の整備



西山公園

鯖江IC

JR鯖江駅

めがねをPRするモニュメント設置
(鯖江駅～めがね会館間)

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・市町が行う地域資源の磨き上げに資する環境整備を支援
(市町協働による地域みらい応援プロジェクト 331,862千円の内数)
 - ・鯖江駅前線の無電柱化
 - ・サテライトオフィスの誘致
- 2023年度実施事業【鯖江市】
 - ・空き家を活用したサテライトオフィスの誘致
(空き家利活用マッチングプロジェクト 7,000千円)



JR鯖江駅「えきライブラリー」の設置・運営



中心市街地商店街の空き店舗を活用したサテライトオフィス



サンドーム福井

JR鯖江駅観光案内所の産業PRブース「鯖江駅眼鏡」の設置・運営



さばえSDGs推進センター※

※SDGsの取り組みを紹介する展示や会議スペースを整備。市民や企業をはじめ市内外の関係者が集まり、SDGsを研究・発信する拠点

1-3 (4) 伝統工芸産地の拠点づくりと交流強化

主体	県・市町	場所	越前市他
事業費	約17億円	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・サンドーム福井へのデザインセンター移転、産業振興・人材育成拠点の整備(県、2016) ・紙の文化博物館のリニューアル(越前市、2016) ・越前古窯博物館の整備(県、～2017) ・越前打刃物振興施設、タケフナイフビレッジの整備(越前市、～2020) ・コウゾや漆の森づくり(県・鯖江市、～2018) ・越前箆筒会館の整備(越前市、2019) ・ラポーゼかわだの機能強化(鯖江市、～2020) ・越前たけふ駅の駅西交通広場、道の駅等の整備(越前市、～2022) ・新幹線駅舎の整備(機構、～2022) [P26再掲] ・東西、南北アクセス道路の整備(県、～2022) [P26再掲] 		<ul style="list-style-type: none"> ・無形文化遺産への「和紙」の追加登録 ・越前陶芸村活性化施設の整備 ・産業観光体制の充実

丹南エリアには、越前和紙や越前漆器など、5つの伝統工芸産地が集積しています。県の「越前ものづくりの里プロジェクト」を越前市の「工芸の里構想」などと一体的に推進し、各産地における発信拠点の整備、産地間や近隣観光地との周遊ルートづくりを進めます。

越前打刃物産地



越前打刃物振興施設やタケフナイフビレッジの整備
 ・越前打刃物の歴史・工芸文化発信
 ・越前打刃物技術の保存継承

越前焼産地



越前古窯博物館の整備
 ・水野九右衛門家住宅の移築
 ・資料館、天心堂、天心庵(茶室)の整備

越前漆器産地



・漆器工房の見える化
 ・小型山車の製作
 ・河和田アートキャンプの実施

越前和紙産地

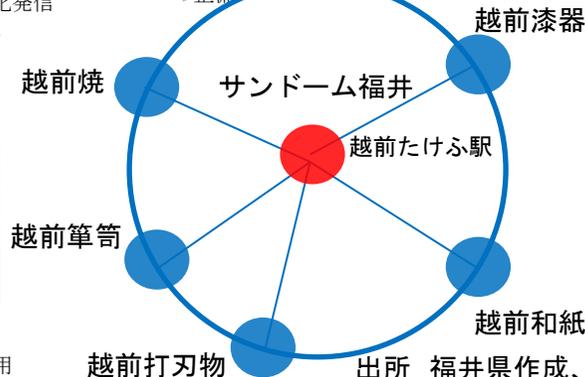


紙の文化博物館のリニューアル
 ・紙道具類など、重要文化財の展示
 ・和紙を使った日本画などの展示

越前箆筒産地



越前箆筒会館の整備
 ・越前箆筒(指物)の情報発信
 ・ダンス町通りを展示場として活用



○ 2023年度実施事業【福井県】

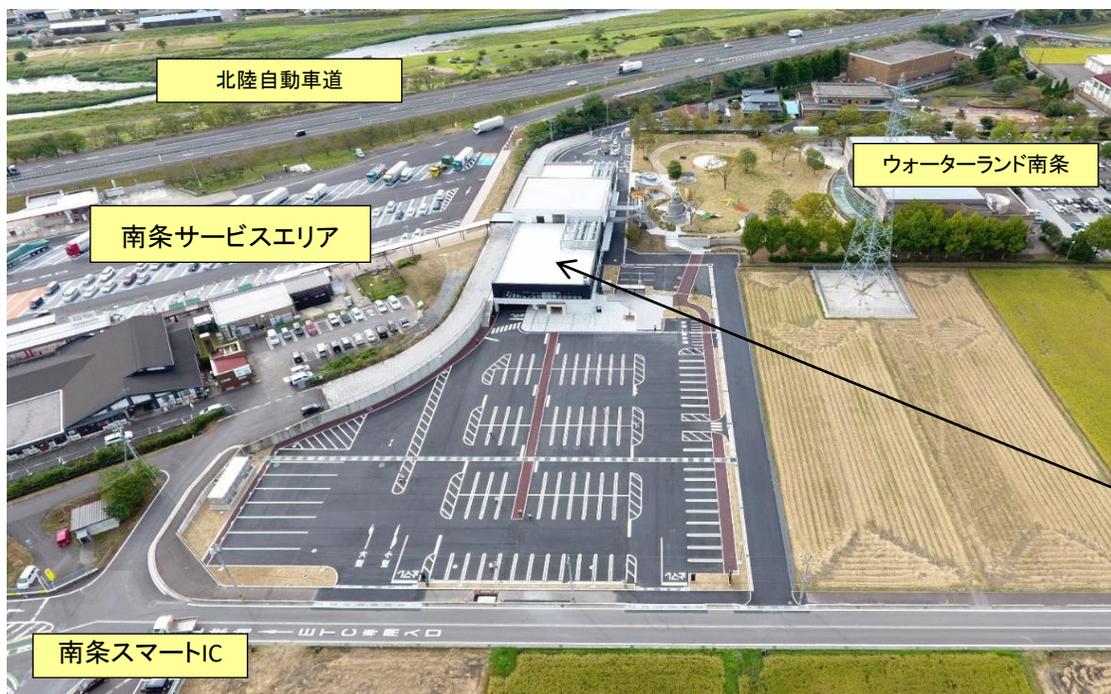
- ・伝統工芸産地連携によるPR等
(越前ものづくりの里プロジェクト 35,068千円)
- ・デザイン性を重視した体験施設・店舗の改修を支援
(産業観光ビジネス支援事業 17,073千円)
- ・県内外の宿泊施設や飲食店での建材やインテリア、テーブルウェアなど伝統工芸品の活用促進
(伝統工芸品活用支援事業 20,000千円)
- ・県内外のデザイナー等との連携による売れる商品の開発や県内外での認知度向上
(新幹線開業に向けた新たなF-TRAD商品開発支援事業 15,537千円)

1-3 (5) 南条SAの集客力の活用および産業基盤の整備

主体	県・南越前町	場所	南越前町
事業費	約26億円	期間	～2021

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・南条スマートICの整備(民間、2009) ・南条スマートICの24時間化(民間、2018) ・南条スマートICのアクセス道路整備(町、～2019) ・公園へのプロジェクションマッピングの整備(県・町、2020) ・道の駅「南えちぜん山海里」、公園の整備(県・町、～2021) ・鯖波工業団地の拡張整備(町、2021) 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜のモニュメントの整備(県、～2023) ・収穫体験施設の整備(県・町、民間 2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設からの周遊観光ルートの形成

県内唯一のサービスエリアとして年間720万人が利用する北陸自動車道・南条サービスエリア(SA)において、高速道路からも一般道からも利用可能な物販施設や情報発信施設等を整備します。あわせて、SA周辺における新たな産業団地の整備を進めます。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・恐竜モニュメント設置
(恐竜博物館来館者ワクワク回遊プロジェクト 75,570千円 R3→R4繰越)
- 2023年度実施事業【南越前町】
 - ・収穫体験施設の整備
(南越前町活性化計画 182,801千円の内数)



1-3 (6) 今庄宿の歴史空間の再生

主体	南越前町	場所	南越前町
事業費	約7億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・北国街道の道路空間整備(町、2015) ・京藤甚五郎家を活用した交流施設、JR今庄駅舎の改修(町、2016) ・昭和会館の改修・修景、今庄駅前広場等の整備(町、2017) ・旧玉村家改修(町、2018) ・重要伝統的建造物群保存地区に選定(町、2021) 		<ul style="list-style-type: none"> ・今庄宿や北前船主の館群などを周遊する観光ルートの形成 ・重要伝統的建造物群保存地区選定後の保存活用の推進

今庄宿の歴史的なまちなみを保存し、旧北国街道宿場町の景観を再生します。

昭和会館

○昭和会館等の改修・修景

- ・宿場町の魅力発信拠点として、今庄宿の保存・活用（歴史文化の展示や住民、観光客の交流の場）

○JR今庄駅舎改修

- ・今庄まちなみ情報館を増設し、観光客の窓口として、今庄宿、鉄道の町等の情報発信

堀口酒造

北村酒造

旧旅籠若狭屋(地元NPOの拠点)

旧玉村家

JR今庄駅

白駒酒造

今庄支所 SL

富山酒造

常夜燈

常夜燈の設置

至 越前市

至 滋賀県

国道365号線

伝統的外観が残されている民家等

地域まるっと体感宿 玉村屋

○ 2023年度実施事業【南越前町】

- ・重要伝統的建造物群保存地区選定後の保存活用の推進

(今庄宿伝統的建造物群保存地区保存活用事業 49,677千円)



京藤甚五郎家・齋藤家の保存改修



北国街道の道路空間整備



今庄まちなみ情報館

1-3 (7) 里山里海湖の保全・活用

主体	県・市町	場所	越前町他
事業費	約3億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・トレイルコースの設定(県、2015) ・水仙ランドレストランの整備(越前町、2016) ・「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定(市町、2020) ・越前海岸や水仙畑を眺望できる視点場整備 [P13再掲] ・重要文化的景観解説板の整備 [P13再掲] 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖等の広域景観の形成(県、2016～) 	

ふくいの里山や周辺の名所・旧跡を巡るトレイルコースの設定など、里山里海湖の体験施設の整備を進めます。

○Satoyamaトレイルコース

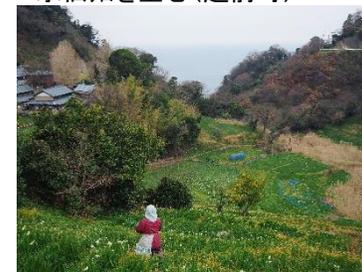


○ビューティフル3セット 観光プロジェクト(越前町)



文学資料館をレストランに改修

○視点場から 水仙畑を望む(越前町)



水仙畑を眺望できる視点場を整備

出所 福井県作成、「ビューティフル3セット観光プロジェクト」(越前町)、「木望のまちプロジェクト」(池田町)

1-3 (8) 志津原エリアなど池田の中核観光施設の整備拡充

主体	池田町	場所	池田町
事業費	約3億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ(TPA)」の整備(池田町、2015) ・旧池田第三小学校を合宿施設「農村de合宿キャンプセンター」として整備(池田町、～2018) ・「おもちゃハウスこどもと木」および「あそびハウスこどもと森」オープン(池田町、～2020) ・ウッドラボいけだの移転オープン(池田町、2020) ・TPAの拡充(池田町、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・志津原「道のオアシスフォーシーズンテラス(仮称)」整備(池田町、2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業会社「SGC池田屋」(仮称)の設立 ・溪流温泉冠荘リニューアルプランの策定(池田町、未定)

TPAでは、幼児から楽しめる遊具を多数配置した「子ベンチャーパーク(仮称)」や、マルシェや観光案内所、物産店などを備えた「道のオアシスフォーシーズンテラス(仮称)」など、志津原地区をリゾートエリアとして再整備し、町民同士の連携及び協働と地域資源循環型社会の構築を通じ、観光交流人口の拡大を目指します。



かずら橋



TPA:メガジップライン



TPA:樹上テント

○ 2023年度実施事業【池田町】

- ・志津原エリアの再開発
(志津原再開発事業 791,000千円)
- ・ツリーピクニックアドベンチャーいけだのアドベンチャーパーク拡張エリアのオープン
(ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張計画 550,000千円)



○おもちゃハウスこどもと木 あそびハウスこどもと森(池田町)



○ウッドラボいけだ(池田町)



I-4 高規格幹線道路開通対策 中部縦貫自動車道周辺エリア

○エリアの方向性

- ・恐竜ブランドに続く歴史遺産のブランド化(中世の宗教都市、大野城下町など)
- ・恐竜博物館を中心とした「ダイナソーバレーリゾート」の形成
- ・中部縦貫自動車道県内全線開通を機とする中京圏のものづくり産業との連携強化

ダイナソーバレーリゾートの形成 (P38~40)

長尾山総合公園全体の魅力向上、恐竜博物館から市街地への誘客を促進

- ・野外恐竜博物館の整備
- ・ジオターミナルの整備
- ・長尾山総合公園全体の再整備
- ・恐竜博物館の機能強化
- ・恐竜バスや列車の運行
- ・ホテル(恐竜ルーム等)の改修
- ・県立大学恐竜学部(仮称)の開設 など

白山平泉寺の発信 (P42)

平泉寺地区において、中世の宗教都市の歴史を感じる景観を整備

- ・東尋坊跡の周辺整備
- ・越前禅定道の再整備 など

六呂師高原の活性化 (P43)

奥越の周遊観光拠点として、六呂師高原の自然環境を生かした誘客策の検討、高原内の施設のレベルアップ

- ・アウトドアを中心とした活性化
- ・日本一美しい星空の観光活用 など

化石資源の活用 (P44)

和泉地区において、化石の魅力を経験できるまちづくりを実施

- ・平成の湯の再整備
- ・中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査
- ・恐竜トリックアート及び恐竜モニュメント整備 など

越前おおの城下町の再生 (P43)

歴史あるまちなみの整備と商業エリアの活性化により、活気ある越前おおの城下町を再生

- ・城下町南広場の整備
- ・COCONOアートプレイスの整備
- ・popolo.5の整備 など

道の駅の整備 (P37)

- ・重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備
- ・重点道の駅「恐竜溪谷かつやま」の整備

広域道路の整備促進

- ・勝山インター線
- ・国道416号 大日峠道路
- ・国道157号 大野バイパス
- ・国道158号バイパス など

油坂出入口(仮称)

※ 赤破線=橙実線(インター名称変更) 油坂出入口の追加



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)	
勝山 I・C	勝山市 約8億円	長尾山総合公園の再整備				長尾山総合公園の再整備						
	県 約94億円						恐竜博物館の機能強化					
	県 約1億円	恐竜骨格化石の充実										
	県・勝山市 約5億円	重点道の駅「恐竜溪谷かつやま」の整備										
	県・勝山市 約0.5億円	商業エリアの 個店改修										
	勝山市 約1億円	花月楼改修										
	県 約0.7億円	越前禅定道の再整備										
	県・勝山市 約3億円	旧木下家の保存				旧木下家の公開・活用						
	県									県立大学恐竜学部(仮称)の開設		
大野 I・C・荒島 I・C	大野市 約2億円	古民家ギャラリー「COCONOアートプレイス」の整備										
	大野市 約0.4億円	越前大野城の整備										
	県・大野市 約2億円	商業エリアの個店改修	popolo.5の整備			越前大野城の城内装飾						
	県・大野市 約3億円	スキー体験施設の整備 うらら館の再整備	六呂師高原の再整備			うらら館木質バイオマス ボイラ導入						
	県・大野市・民間					六呂師高原の活性化 に向けた調査	構想策定 計画策定 受入体制整備・魅力向上					
	県・大野市 約35億円	重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備					奥越高原牧場・自然保護センターの魅力向上					
	大野市 約0.3億円									日本一美しい星空を活用した誘客		
九頭 竜 I・C	大野市 約2億円	化石発掘体験施設の整備										
	県 約0.03億円						パークホテル九頭竜 恐竜客室整備					
	大野市 約0.3億円						中部縦貫自動車道の工事に伴う化石調査					
広域	県・国						化石発掘体験センターHOROSSA! 和泉郷土資料館の施設魅力向上					
	県・国	広域道路の整備促進										

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
アクセス道路	県 約7億円	勝山インター線									
	県 約4億円	国道416号 大日峠道路									
	県 約3億円	国道157号									
	県・大野市 約35億円	重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備									
	県・勝山市 約5億円	重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備									
産業基盤	大野市 約13億円	大野市富田産業団地の整備									
	勝山市 約2.5億円							重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」エリア への企業誘致			

1-4 (1) アクセス道路および沿線の産業基盤の整備

主体	県・市	場所	大野市ほか
事業費	約71億円～	期間	～2021

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物生産・加工施設の整備(大野市、～2015) ・勝山インター線の整備(県、～2016) ・国道157号大野バイパスの整備(県、～2016) ・国道416号大日峠道路の整備(県、～2018) ・大野市富田産業団地の整備(大野市、～2020) ・重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備(県・大野市、～2020) ・重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備(県・勝山市、～2020) ・株式会社モンベルとの包括連携協定締結(県・民間、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「恐竜渓谷かつやま」エリアへの企業誘致(勝山市・民間、2022～) 	

中部縦貫自動車道県内全線開通により、奥越は中京・東海エリアとの交流のフロンティアになります。

この効果を地域産業の発展や観光誘客につなげるため、各ICから周辺観光地等へのアクセス道路および重点道の駅を整備します。あわせて、IC周辺において地域内への周遊滞在の拠点エリアの整備を進めます。

重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」(大野市)



重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」(勝山市)



・宿泊施設、飲食施設(予定)

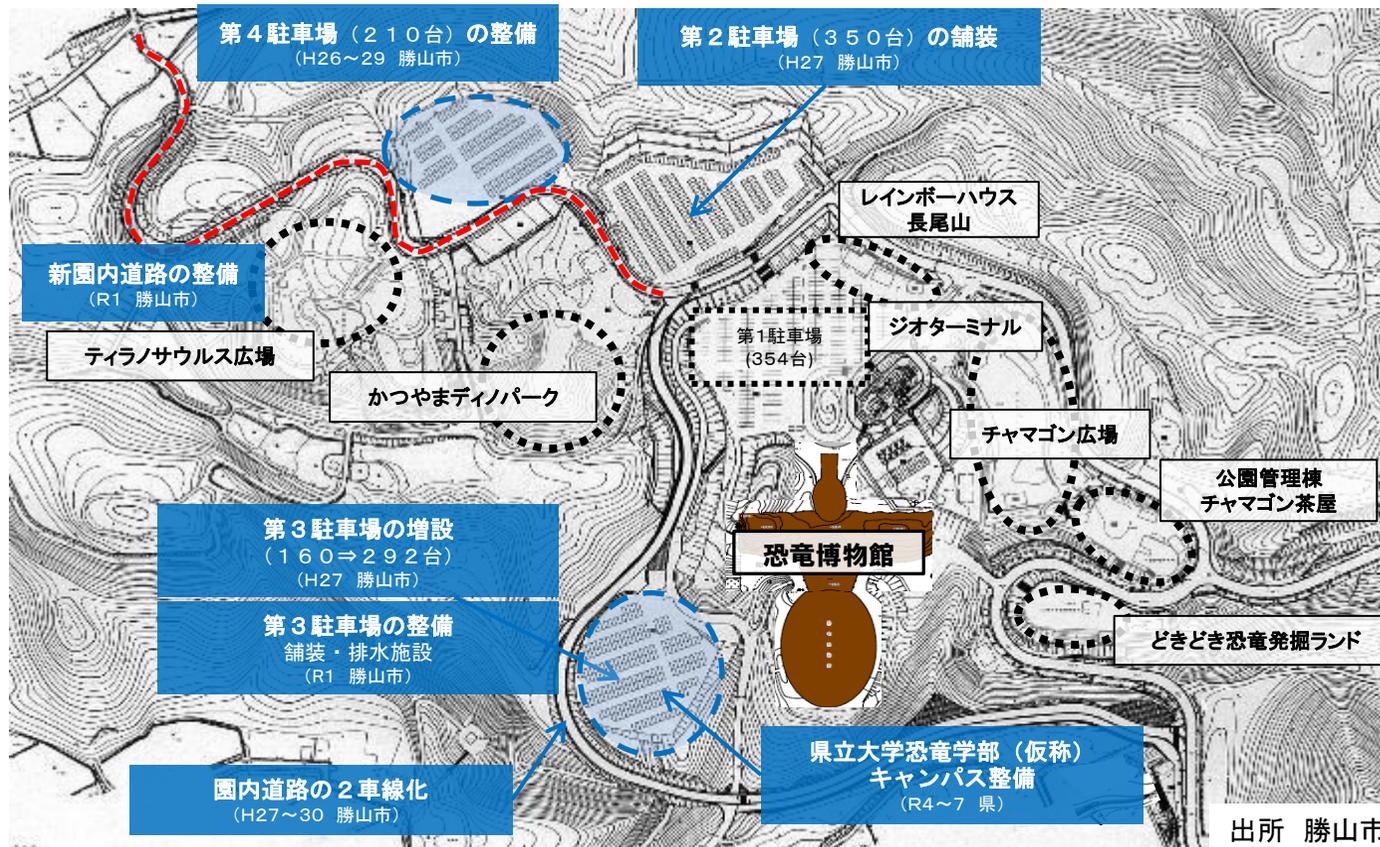
・イチゴハウス

1-4 (2) ダイナソーバレーリゾートの形成

主 体	県・勝山市・民間	場 所	勝山市等
事業費	未定	期 間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・野外恐竜博物館の整備(県、2014) ・ディノパークの整備(市、2015) ・ジオターミナルの整備(市、2017) ・新たな恐竜実物全身骨格等の展示(県、2015~2017) ・映画を活用した「福井の恐竜」の発信(県、2018) ・駐車場増設等の渋滞対策(市、2015~2019) 	<ul style="list-style-type: none"> ・恐竜化石の発掘調査(県、1989~) ・恐竜博物館の機能強化(県、2020~) ・長尾山総合公園におけるPark-PFI事業者による公募対象公園施設の整備(市・民間、2020~) ・県立大学恐竜学部(仮称)の開設(県、2022~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・長尾山総合公園における、Park-PFI実施事業者による公募対象公園施設の管理運営と、指定管理者としての公園全体管理運営の一元化

本県のキラコンテンツである恐竜博物館を中心とした長尾山総合公園全体の魅力向上に向けて、恐竜博物館の機能強化や公園全体の再整備を実施します。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・恐竜博物館の機能強化(後掲P39)
 - ・県立大学恐竜学部(仮称)の開設に向けた実施設計(恐竜学部(仮称)開設事業 83,309千円)
- 2023年度実施事業【勝山市】
 - ・長尾山総合公園再整備・管理運営事業

県立大学恐竜学部の開設

名称:恐竜学部 恐竜・地質学科(仮称)

開設:令和7年4月

定員:30名



イメージ

ダイナソーバレーリゾートの形成〔恐竜博物館の機能強化〕

主体	県	場所	勝山市
事業費	約94億円	期間	～2023頃

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
	・恐竜博物館の機能強化(県、2020～)	

恐竜博物館の「オールシーズン体験可能な博物館にフルモデルチェンジ」をコンセプトに、博物館を機能強化し、世界に誇る恐竜化石の研究・情報発信の拠点として、未来に続く博物館を目指します。

恐竜博物館の機能強化(整備)イメージ



○ 2023年度実施事業【福井県】
 ・恐竜博物館の機能強化
 (整備工事等 3,853,335千円)
 継続費 8,487,704千円(2021～2023年度)

<機能強化内容>

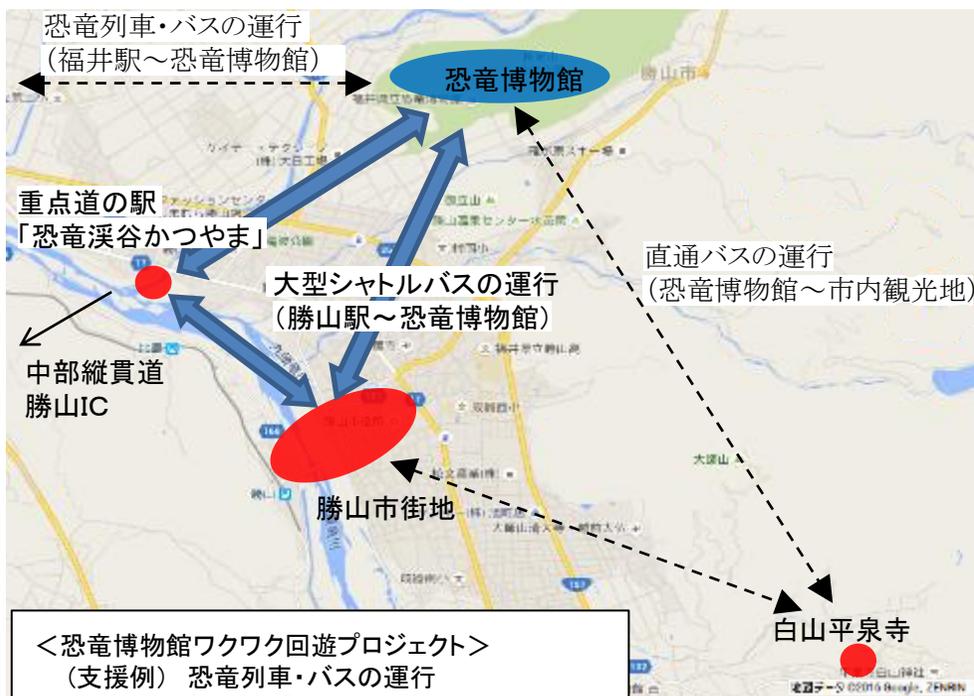
- ・収蔵庫の増設
- ・ショップ・レストランの拡充
- ・特別展示室
- ・案内やシアターの多言語化
- ・化石研究体験スペース
- ・多目的ホール

ダイナソーバレーリゾートの形成〔恐竜博物館からの誘客〕

主体	県・勝山市・民間	場所	勝山市
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・勝山駅前整備(県、2011) ・電気機関車テキ6展示施設の整備(市、2013) ・旧料亭花月楼の再生(市・民間、2016) ・個店の改修等への支援(県・市、～2016) ・重文旧木下家住宅の保存修理(県・市、2019～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・勝山駅～恐竜博物館間の直通バス等の拡充(市・民間、2016～) ・福井駅からの恐竜バス・列車の運行、ホテル(恐竜ルーム等)の改修等(県・民間、2020～) ・恐竜のモニュメント設置(県・市町、2020～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・重文旧木下家住宅の一般公開(県・市、2019～)

恐竜博物館(ジオターミナル)、まちなか(旬菜食祭花月楼)、重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」を3拠点として、恐竜博物館来館者等の周遊を拡大します。



恐竜ルームの設置



花月楼



恐竜のモニュメント(イメージ)



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・博物館来館者の回遊・宿泊を促進するための取組みを支援
(恐竜博物館ワクワク回遊プロジェクト 60,949千円)
- 2023年度度実施事業【勝山市】
 - ・博物館来館者の市内観光地への誘客
(ジオターミナル管理事業 12,028千円)
(道の駅管理事業 17,900千円)



勝山駅前の整備

出所:「おもてなし商業エリア創出プラン「ハード整備等」(詳細版)」(勝山市)、勝山市ホームページ(一部、県加工)

I-4 (3) 白山平泉寺および越前禅定道の再生

主体	県・市	場所	勝山市
事業費	約0.7億円	期間	継続実施

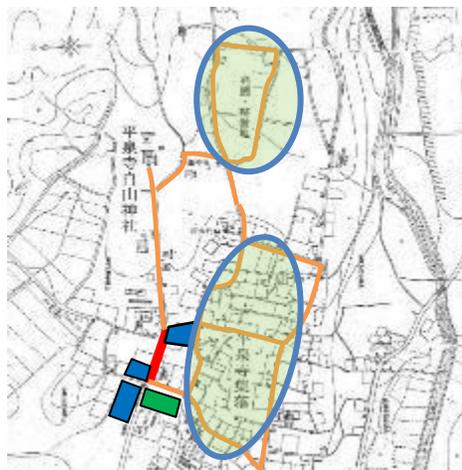
2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・白山平泉寺歴史探遊館「まほろば」の整備 (市、2012) ・東尋坊跡や土蔵周辺の広場整備 (市、2014) ・一乗谷・白山平泉寺の日本遺産認定 (再掲、県・福井市・勝山市、2019) 		<ul style="list-style-type: none"> ・越前禅定道の再整備(県、終了時期未定)

中世の宗教都市であった平泉寺地区の景観および散策環境を整備。併せて、福井県側から白山登山ルートへとつながる越前禅定道について、老朽化した階段等の補修や不通区間の解消を進めます。



出所 「白山平泉寺全国発信プロジェクト」(勝山市)、勝山市ホームページ

平泉寺周辺の整備



○ 2023年度実施事業【福井県】
ガイド育成
(ふくいの日本遺産活用促進事業 4,300千円)



まほろばの整備



交流拠点の整備

1-4 (4) 歴史的な風情のある越前おおの城下町の再生

主体	大野市・民間	場所	大野市
事業費	約4億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・城下町南広場の整備(市、2015) ・個店の改修等への支援(県・市、~2016) ・古民家ギャラリー「COCONOアートプレイス」の整備(市、~2017) ・popolo. 5の整備(民間、2017) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入環境の整備(県・市、2021~) ・越前大野城の城内装飾(市、2022~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・武家屋敷旧内山家(夏障子、冬の絵障子設置)武家屋敷旧田村家(風車設置)、御清水提灯ライトアップ、越前おおの結楽座手ぬぐい回廊等による魅力向上 ・結ステーションの再整備

歴史あるまちなみの整備に加え、民間事業者による商業基盤施設や歴史的魅力を活かした店舗づくりなどを支援することにより、活気に満ちた越前おおの城下町を再生します。



古民家を活用した市民所有絵画の展示



COCONOアートプレイス

歴史的建造物の保存整備



武家屋敷 旧田村家屋敷

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・まちなか商店街などの集客力向上に対する支援(商店街等集客力向上支援事業 17,692千円の内数)
 - ・(商店街等空き店舗対策支援事業30,373千円の内数)
- 2023年度実施事業【大野市】
 - ・観光客向け店舗改修等への支援、COCONOアートプレイスを拠点とした文化・芸術の発信等(COCONOアートプレイス管理運営経費 13,708千円)
 - ・まちなか商店街などの集客力向上に対する支援(商店街等集客力向上支援事業 1,500千円)

商店街の核施設の整備



popolo. 5の整備(民間)

1-4 (5) 六呂師高原の活性化

主体	県・大野市	場所	大野市他
事業費	約3億円～	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 六呂師高原スキー体験施設の整備(県、～2017) うらら館の再整備(市、2016) ミルク工房奥越前の機能向上(県、2017) 六呂師高原活性化構想の策定(県、市、2021) 	<ul style="list-style-type: none"> 星空コンテンツの開発(市、2018～) 星空保護区認定に向けた条件整備(県、市、2020～) 六呂師高原開発計画策定(県、市、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> 自然保護センターの魅力向上 南六呂師区における星空保護区の認定後のフォローアップ 六呂師高原の開発・運営

奥越の周遊観光拠点として、六呂師高原の自然資源を活かした誘客策の検討、高原内の施設のレベルアップ等を図り、中部縦貫自動車道県内全線開通効果の最大化と地域の活性化を図ります。



○ 2023年度実施事業【福井県】
 ・六呂師高原スキー体験施設の解体工事、妻平ヒュッテ、ハイランドホテルの解体設計 等
 (六呂師高原活性化事業 75,279千円)

○ 六呂師高原活性化構想(県・市・民間)
 <コンセプト>
 アウトドアを軸とした誰もが自然を楽しめる山岳高原エリア
 <六呂師高原における取組み>
 ・六呂師高原固有の自然景観の改善
 ・誘客の柱となる拠点施設の整備・施設のリニューアル
 オートキャンプ場、コテージ等
 ・アウトドア・アクティビティの造成・既存施設の利活用

○ 日本一美しい星空の観光活用(市)
 2005年に環境省・日本環境協会が実施した全国星空継続観察により、日本一美しい星空にも選ばれた星空を活用し、地域の活性化を図る
 ・星空保護区認定によるブランド力向上
 ・四季を通じた六呂師ならではの星空コンテンツの開発による誘客力強化

I-4(6) 化石資源の活用

主体	県・大野市	場所	大野市他
事業費	約0.4億円	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 大野市和泉地区化石保全活用計画策定(市、2013) 平成の湯の再整備(県・市、2014) 化石発掘体験センターHOROSSA!の整備(市、2017) 恐竜トリックアート、恐竜モニュメントの制作(県・市、~2022) 恐竜トリックアート設置や展示室の改修など和泉郷土資料館のリニューアル(国・市、2022) 国民宿舎パークホテル九頭竜の恐竜化石客室の整備(県、市、2022) 九頭竜湖駅を化石をテーマに装飾(県・市、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> 和泉エリアにある恐竜化石や九頭竜湖などに加え、山の幸などの素材を満喫できるツアーの造成(県・市、2023) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者による和泉エリアで恐竜化石を満喫できるツアーの造成と観光商品(食、土産品)の開発

和泉エリアの化石産出地としての認知度及び魅力向上に向け、民間事業者や地元団体と連携し様々な事業に取り組み、中部縦貫自動車道県内全線の開通効果の最大化と地域の活性化を図ります。



○ 2023年度実施事業【大野市】

- 和泉エリアにある恐竜化石や九頭竜湖などに加え、山の幸などの素材を満喫できるツアーの造成(恐竜・化石魅力向上事業 1,030千円)

Ⅱ-1 新幹線敦賀駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・北陸新幹線の終着駅効果を嶺南各地に波及させる基盤づくり(新幹線駅前広場の整備、小浜線や二次交通の拡充など)
- ・海陸交通の要衝としての歴史再生による敦賀港および金ヶ崎地区の再整備



○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022(R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業	
敦賀駅	鉄道・運輸機構 約188億円	駅舎デザイン エッセイ 提案(市)	駅舎 基本設計	駅舎実施設計	駅舎整備				試験 運転等			
	県・敦賀市	新幹線駅前広場の整備、アクセス道路の整備										
	敦賀市	駅西地区土地活用エリア サウンディング調査			駅西地区土地活用エリアの整備							
	敦賀市	本町通りの歩行空間美化										
	敦賀市 民間	駅から金ヶ崎エリアへの 観光案内板の設置						敦賀駅周辺エリアのビル改修・景観整備				
敦賀港	県 約2億円	クルーズ船 受入施設の 整備										
	敦賀市	金ヶ崎城跡の保存活用 計画策定		金ヶ崎城跡 整備基本計画策定検討						R6以降未定		
	敦賀市	氣比神宮境内 奥のほそ道の 風景地指定 大鳥居美化		保存活用計画検討						保存活用計画策定		
	敦賀市	金ヶ崎周辺整備構想の実現										
	敦賀市	4棟復元によるムゼウムの再整備						金ヶ崎エリアのまちづくり 実行プラン策定	オーベルジュ等の賑わ い創出施設の整備			
	県・敦賀市	転車台の 保存	民間による往時のまちなみ復元、物販・飲食施設整備検討			民間による金ヶ崎の賑わい創出施設の整備						
		鉄道遺産の活用に向けた検討・整備										

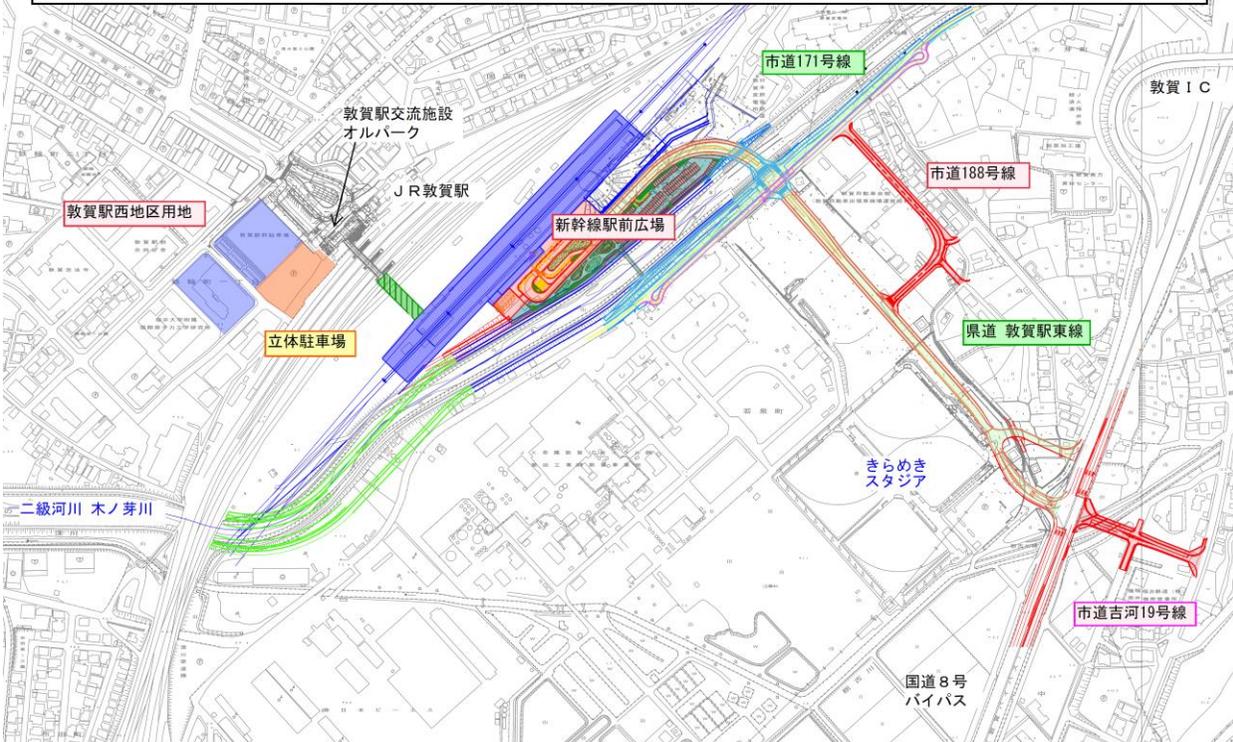
Ⅱ-1 (1) 敦賀駅および駅周辺のまちづくり

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	未定	期間	～2023

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 交流施設「オルパーク」の整備(市、2014) 敦賀駅前広場の整備(市、2015) 新幹線駅舎実施設計の完了(機構、2018) 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅舎の整備(機構、～2023) 敦賀駅アクセス道路の整備(県、～2023) 新幹線駅前広場等の整備(市、～2023) 木の芽川の景観維持(県、2019～) 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅前広場からの広域二次交通の充実 嶺南全域を案内する観光案内施設の整備 駅西・駅東のアクセス道路(第2環状道路)の整備

敦賀駅において乗換を行い、北陸と関西、中京間を行き来する旅行客やビジネス客は年間700万人を超えると試算されています。この効果を嶺南全体の観光や産業の活性化につなげるため、交流施設「オルパーク」や敦賀駅前広場に続き、新幹線駅前広場やアクセス道路の整備を進め、新幹線・JR・並行在来線のターミナル駅となる敦賀駅の交通ハブ機能を強化します。

新幹線駅舎デザインコンセプト「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・敦賀市が行う新幹線駅の周辺整備支援 (北陸新幹線三駅周辺整備推進事業 3,216千円)
 - ・新幹線敦賀駅の利用環境整備支援 (嶺南地域新幹線駅周辺整備支援事業 92,682千円)
 - ・新幹線駅と国道8号とのアクセス道路整備 (街路事業 63,000千円)
 - ・木の芽川の景観維持 ((県単)河川維持修繕事業 160,000千円の内数)
 - ・ムービングウォークの整備 (敦賀駅ムービングウォーク整備事業 87,100千円)
 - ・新幹線敦賀駅へのデジタルサイネージ設置への支援 (嶺南地域観光交通情報等発信事業 78,649千円)
- 2023年度実施事業【敦賀市】
 - ・新幹線駅前広場や周辺道路等の整備 (北陸新幹線駅周辺施設整備事業費 1,226千円)
 - ・駅西・駅東のアクセス道路(第2環状道路)の整備 (第2環状道路整備促進事業費 37,500千円)



オルパーク



北陸新幹線敦賀駅舎(イメージ)

出所 敦賀市作成

敦賀駅および駅周辺のまちづくり（駅から金ヶ崎への動線整備）

主体	県、敦賀市	場所	敦賀市
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・市立博物館の改修(市、2015) ・キッズパークつるが開館(市、2016) ・氣比神宮大鳥居修復工事(県・市・民間、2017) ・シェアサイクルポート整備(市、～2019) ・敦賀市駅前立体駐車場の整備(市、2019) ・敦賀港線の景観整備(県、2020) ・本町通りの歩行空間美装化(市、～2020) ・敦賀駅西地区「otta」及び、「ちえなみき」の整備(市・民間、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・名勝おくのほそ道の風景地けいの明神(氣比神宮境内)の保存活用検討(市、2017～) ・みなとつるが山車会館の改修(市、2021～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内を周遊する二次交通の充実 ・敦賀駅周辺エリアの商業ビル・個店のリノベーション支援(民間、2022～2027)

敦賀駅で下車した観光客や市民が、氣比神宮や門前となる商店街などから金ヶ崎周辺までを周遊したくなるような街並み・道路整備や賑わいづくりを進めます。



- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業)150,000千円の内数)
 - ・市町が行う地域資源の磨き上げに資する環境整備を支援(市町協働による地域みらい応援プロジェクト 331,862千円の内数)
 - ・リノベーションの手法を活用した商業ビルや個店の整備の支援(官民連携による「敦賀市まちづくりファン」活用事業 120,000千円)
- 2023年度実施事業【敦賀市】
 - ・みなとつるが山車会館施設の改修(みなとつるが山車会館魅力向上事業 29,137千円)
 - ・誘客力向上のための店舗リノベーション等の支援(店舗等魅力向上支援事業 154,500千円)



敦賀市駅前立体駐車場

Ⅱ-1 (2) 金ヶ崎周辺整備構想の実現

主体	県・敦賀市	場所	敦賀市
事業費	約13億円	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 赤レンガ倉庫(ジオラマ館、レストラン館)、ランプ小屋の整備(市、2015) クルーズ船の受入設備の整備(県、2016) 金ヶ崎周辺施設整備基本計画の策定(市、2018) 人道の港敦賀ミュージアムの整備(県・市、～2020) 金ヶ崎緑地におけるプロジェクションマッピングの整備(県・市、2020) 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡金ヶ崎城跡の保存活用整備検討(市、2015～) 鉄道遺産を巡るSLバスの運行(市町、2017～) 金ヶ崎周辺エリアのまちづくり実行プランの策定(県・市等、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間資本活用によるオーベルジュ等の賑わい創出施設の整備

「人道の港」のブランドイメージを形成し、さらなる賑わいを創出するため、赤レンガ倉庫(ジオラマ館およびレストラン館)のリニューアルオープンに続き、明治以降の近代化遺産の活用など、金ヶ崎周辺整備構想を具体化します。

金ヶ崎城跡の整備



4棟復元による新ミュージアムの整備(敦賀市)



海外クルーズ客船の誘致(イメージ)



ジオラマ館の整備(敦賀市)



金ヶ崎周辺の往時のまちなみ復元(民間)

Ⅱ-2 新幹線小浜市附近駅周辺エリア

○エリアの方向性

- ・重要伝統的建造物群保存地区である小浜西組を中心に、小浜らしさを感じることができるよう市街地の魅力を向上
- ・新幹線駅ができることによる大都市との近接性を活かし、文化的・健康的な暮らしを楽しみ、子育てもしやすい居住エリアを形成
- ・Uターン者や地元に残る次世代の若者が関西に通勤したり、地元でクリエイティブに働くなど、活躍できる地域を形成



小浜駅周辺の整備 (P54)

重伝建地区である小浜西組を中心とした市街地の魅力向上

- ・サテライトオフィスの整備
- ・小浜西組の古民家を活用した交流・宿泊拠点の整備
- ・小浜縦貫線の整備
- ・小浜駅周辺の観光拠点の整備
- ・健康づくり・介護予防・子育て支援などを行う新たな健康管理センターの整備 など
- ・小浜駅待合室等のリニューアル

新幹線駅周辺のまちづくり (P55)

現在の市街地とつながりを考慮しながら、大都市との近接性を活かしたまちづくりを実施

- ・まちづくりの基本的方向性の検討
- ・重点道の駅「若狭おばま」の拡張 など

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022(R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業
小浜駅周辺	小浜市 約10億円	まちの駅等の整備							小浜駅待合室等のリニューアル		
	小浜市、民間	重伝建地区の古民家・空き家等のリノベーション									
	小浜市 約27億円	小浜縦貫線(小浜広峰他)の整備						小浜縦貫線(大手町他)の整備			
	小浜市 約0.7億円	鯖街道ミュージアムの整備									
	小浜市					健康づくり・介護予防・子育て支援などを行う新たな健康管理センターの整備				魅力ある移住・定住エリアの創出	
新幹線駅周辺	小浜市	新幹線駅周辺の基本的方向性の検討				新幹線駅周辺の整備方針や基本計画および開発計画等の検討					
	小浜市 約4.4億円	重点道の駅「若狭おばま」の拡張			重点道の駅「若狭おばま」の機能拡充および全面リニューアル						
	県、小浜市、民間									新幹線駅周辺の整備	子育て支援施設や医療機関、駅からのバス路線等の整備

II-2 (1) 小浜駅を中心とした市街地の魅力向上

主体	県・小浜市・民間	場所	小浜市
事業費	約34億円～	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・三丁町の宿泊施設の整備(市、～2017) ・まちの駅の整備(旧旭座の移転)(市、2015) ・小浜駅のトイレ改修(市、2017) ・小浜縦貫線(小浜広峰他)の整備(市、～2019) ・鯖街道ミュージアムの整備(市、～2019) ・三丁町の景観整備(市、～2020) ・民宿リニューアル支援事業による古民家・漁家民宿の改修(県・市、2020～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧丹後街道の景観整備(市、2017～) ・三丁町の町家等を改修した宿泊施設の整備(民間、2017～) ・新たな健康管理センターの整備(市、2020～) ・市内宿泊施設等の付加価値化改修 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家を活用した情報発信拠点の整備 ・小浜西組周辺へのアンテナショップや宿泊施設の整備 ・外国人観光客等の宿泊需要に対応した施設の整備 <p>(※大阪開業頃までに実現を目指す施策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトオフィスの整備 ・小浜縦貫線(大手町他)の整備(市、2022～) ・小浜ならではの食を提供する店舗の拡大

現在の小浜駅から三丁町にかけて、古民家リノベーションや空き店舗の活用等による情報発信拠点やサテライトオフィスの開設、駅近くへの子育て支援や介護予防の場となる健康管理センターの整備など、まちの魅力を向上します。

○海の駅

- ・食文化館を中心に、若狭フィッシャーマンズ・ワーフ、蘇洞門巡りなどの「海」、「食」をキーワードとする交流促進

特定エリア空き店舗対策の対象となる通り

新しい生活様式に合わせたイベントの開催

三丁町の町家を改修した宿泊施設

○小浜西組重伝建地区

- ・歴史と伝統文化、生活の体験エリアの整備
- ・町家を改修した宿泊施設の整備

○まちの駅の整備

- ・まちなか観光の結節点として、旧旭座の移転整備
- ・いづみ町商店街にポケットパークを整備

鯖街道ミュージアム(ポケットパーク内)

○小浜駅周辺の観光拠点整備

- ・情報発信やインバウンド対応の強化(Wi-Fi整備等)
- ・周遊観光拠点としての環境整備(レンタサイクルの拡充等)

○小浜駅待合室等のリニューアル
(コワーキングスペース設置、Wi-Fi、デジタルサイネージの設置等)

○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・市町が行う地域資源の磨き上げに資する環境整備を支援
(市町協働による地域みらい応援プロジェクト 331,862千円の内数)
- ・小浜西組重要伝統的建造物群保存地区の建造物等の修理への支援
(重要伝統的建造物群保存地区整備事業補助金交付事業 6,596千円)
- ・サテライトオフィスの誘致(28P再掲)
- ・小浜駅待合室等のリニューアルの支援
(小浜駅利用環境整備支援事業 30,116千円)

○ 2023年度実施事業【小浜市】

- ・三丁町、旧丹後街道景観整備
(小浜西組景観形成促進事業 1,000千円)
- ・特定エリアへの飲食店等の店舗集積に向けた起業支援
(特定エリアへの飲食店などの誘導を図る統合型の創業支援補助金 4,935千円)
- ・新たな健康管理センターの整備
(新・健康管理センター整備事業 161,428千円)
- ・小浜縦貫線の整備
- ・小浜駅待合室等のリニューアル (30,116千円)

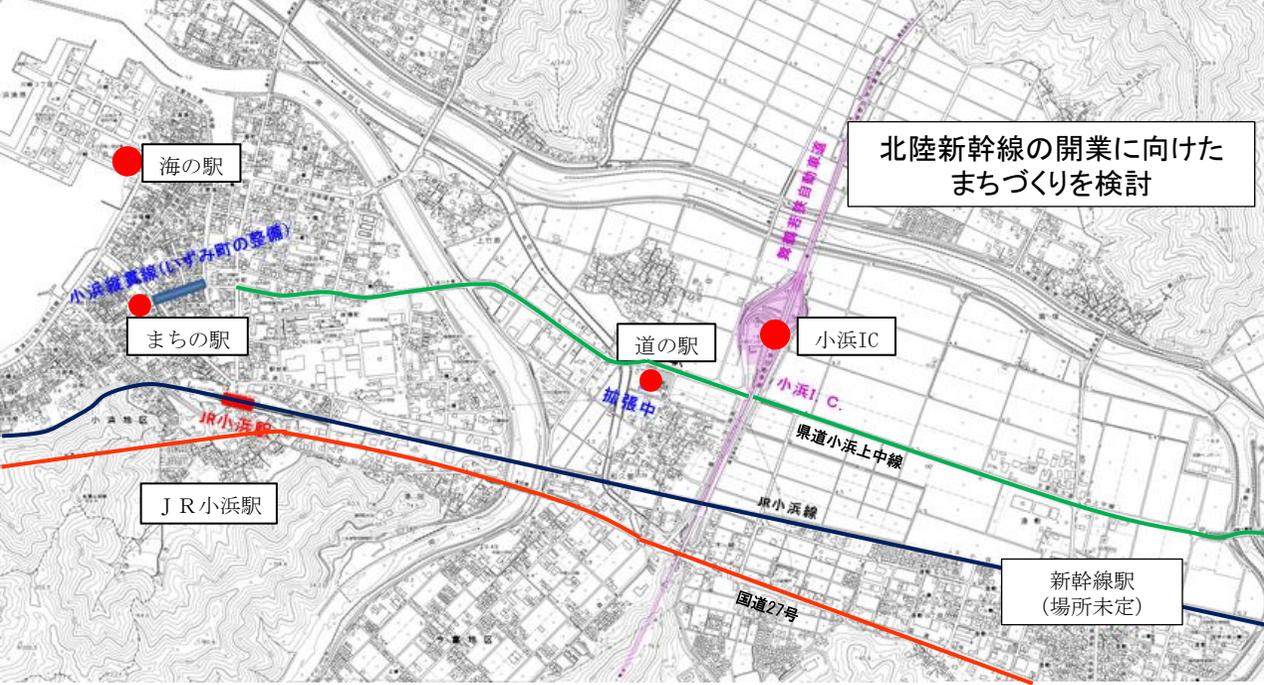
出所:「小浜市都市計画図」(小浜市)

Ⅱ-2(2) 現市街地から新幹線駅周辺にかけてのまちづくり

主体	県・小浜市・民間	場所	小浜市
事業費	未定	期間	未定

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 重点道の駅「若狭おばま」整備(県・市、2011～) 若狭おばま周遊レトロバスの運行(市、2017～) 重点道の駅「若狭おばま」のバスターミナル・レストラン整備(市、～2020) 重点道の駅「若狭おばま」の機能拡充・全面リニューアル(県・市、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> 明通寺・鶴の瀬周辺道路の景観整備(県、2019～) 新幹線駅周辺の整備方針や基本計画および開発計画等の検討(市、2021～) 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅周辺の開発計画の策定 「道の駅」と「まちの駅」、「海の駅」のネットワーク強化 <p>(※大阪開業頃までに実現を目指す施策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新幹線駅周辺の整備

新たな玄関口となる新幹線小浜市附近駅周辺の地域について、舞鶴若狭自動車道小浜ICや道の駅、小浜駅周辺の市街地との関係・つながりを考えながら、まちづくりの検討を進めます。



小浜市提供資料を加工

○ 2023年度実施事業【福井県】

- 市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業)150,000千円の内数)



重点道の駅「若狭おばま」バスターミナル整備

Ⅱ－3 広域若狭湾エリア

○エリアの方向性

- ・嶺南の豊かな自然や食を楽しみながら生活できるライフスタイル先進地「WAKASAリフレッシュエリア」の実現
- ・嶺南Eコースト計画に基づく研究開発・人材育成拠点やスマートエネルギーエリアの形成

(1) 若狭湾エリアの玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化(交通体系) (P60～61)

- ・広域バス路線の運行やJR小浜線の利便性向上
- ・エリア周遊を伸ばす二次交通の強化
- ・敦賀港の国際物流ターミナル機能等の強化
- ・県境を越えた鉄道接続の強化
- ・高規格道路や県境道路の整備

(2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用

①海湖と歴史を活かした交流の拡大(交流人口) (P62～66)

- ・景観保全に関するルールの策定等による「若狭の風景」の形成
- ・自然体験・リゾートエリアの形成
- ・歴史遺産や古くからのまち並みの復元・再生
- ・県境を越えて観光・交流エリアの拡大 など

②若狭フード・コーストの形成(特徴発揮) (P67～69)

- ・伝統技術を活かした食品加工産業の集積
- ・園芸の一大産地化
- ・先端技術の活用による漁業の効率化や高付加価値化
- ・御食国の食ブランドの磨きあげ

③自然環境の活用とエネルギー開発の共立(学術・研究の拠点戦略) (P70)

- ・水月湖年縞の研究成果を国内外に発信
- ・多様なエネルギーを活用し、人・企業・技術・資金が集まるエリアを形成



(3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致

①まちづくりや産業のプレイヤーの育成(人材育成) (P71)

- ・高度な農業・漁業を担う人材の育成
- ・チャレンジ意欲の高い若者等の創業を支援

②都市との交流を通じたライフスタイル先進地の形成(定住戦略) (P72～73)

- ・自然と歴史が調和する移住・交流エリアの形成
- ・嶺南Eコースト計画の推進

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020 (R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業	
(1) 交通体系	県、市町、民間 — 敦賀市、民間 約25億円		敦賀南スマートICの整備									
	若狭町、民間 約27億円		三方五湖スマートICの整備									
	県 約2億円				内浦港ふ頭用地の拡張							
	敦賀市 約22億円				敦賀市第2産業団地の整備							
	おおい町 約8.5億円				おおい町しごとみらい産業団地の整備							
	国、県 約312億円								敦賀港鞠山南地区2期工事(～2027)			
	県、国、民間 —									広域道路の整備促進(舞鶴若狭自動車道4車線化、国道162号、岡田深谷線等)		
(2) ① 交流人口	国、県、美浜町 —				「はまびより」(道の駅)、農業人材育成拠点の整備							
	県、若狭町、美浜町、民間 約3.7億円			山頂公園の整備				山頂公園再整備 嶺南地域の結婚・婚活拠点の整備	三方五湖エリアの魅力向上			
	若狭町 約6.3億円							三方五湖有料道路の再整備				
	美浜町 —							若狭アドベンチャーツーリズム拠点整備				
	高浜町 約1.2億円							遊覧船の再開とレークセンターの再整備				
	高浜町 約20億円								ブルーフラッグ認証ビーチの発信、誘客への活用			
	県 約1億円								城山公園の再整備			
	おおい町 約13.6億円								成海緑地公園の再整備			
	県、市町 —									総合運動公園の合宿施設の拡充		
	県、市町、民間 —									嶺南広域サイクリングルートの整備		
										県域を越えた広域観光の促進		

○主な関連事業の年次計画

	実施主体 2016～事業費	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30) (福井国体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022(R4)	2023(R5) (福井・敦賀開業)	2024～ (R6～)	大阪開業
(2) ② 若狭フード・コースト	県 約10億円	園芸体験施設の整備									
	美浜町 約1.4億円		直売所・楽膳レストランの整備								
	高浜町 約0.5億円		葉草加工施設の整備								
	市町、民間	イチゴやブドウ等の体験・観光農園の整備									
	民間					スマート園芸施設の整備					
	県、市町、民間	大規模園芸施設の拡大									
	県 約7億円	ふくい水産振興センターの整備					水産学術産業拠点の整備				
	民間		スマート養殖設備の整備								
	県、高浜町 約24億円	高浜漁港の再整備									
	小浜市 約1.3億円	水産加工・体験施設の整備									
県 約0.5億円	ブランド魚の販路拡大(若狭ぐじ極、越前がれい極)、養殖生産の拡大(若狭まはた、ふくいサーモン、よっぱらいサバ、イワガキ等)										
市町、民間	シジミ・ウナギの漁獲量拡大										
(2) ③ 学術・研究の拠点戦略	県 約15億円	年縞博物館の整備		研究成果を国内外に発信							
	国	試験研究炉の設置に向けた検討、調査				概念設計		詳細設計を経て整備に着手			
	国、県	国際シンポジウムの誘致									
	敦賀市	ハーモニアスポーツ構想の策定			研究開発支援等、産業構造高度化、エネルギー多元化事業の実施			新産業創出支援、水素社会の形成を推進			

Ⅱ-3 (1) 若狭湾エリアの玄関口の形成と地域交通ネットワークの強化 (交通体系)

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	～2024

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・国道27号金山バイパスの整備(国、～2014) ・小浜線10駅でレンタサイクル整備(県・市町・民間、～2017) ・嶺南地域公共交通網形成計画の策定(県・市町・民間、2019) ・十村駅の整備(県・市町・民間、2021) ・丹後くろまつ号の小浜線運行(県・市町・民間、2019～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・美浜駅の整備(県・市町・民間、2021～) ・デマンドバス等の実証運行(県・市町・民間、2021～) ・コミュニティバスへのICOCA導入(県・市町、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域バス、小浜線を補完するバス等の運行 ・レストランバスの運行 ・JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定 ・駅のバリアフリー化や待合環境整備の検討 ・京都北部との鉄道接続の強化 ・小浜線での観光列車の運行

地域交通の軸となる小浜線の増便や時間短縮、バスとの接続強化などを通して、将来にわたって地域の移動手段として持続可能な交通ネットワークを構築するとともに、2024年春の新幹線開業効果を嶺南地域全体に波及させるための利便性の高い二次交通を整備します。

○嶺南地域公共交通網形成計画に基づき検討・実施する主な施策(R2～R6)【抜粋】

1 公共交通の利便性向上

- 小浜線の増便・利便性の高いダイヤの設定
- 敦賀～京都北部(舞鶴地区)間の時間短縮
- 小浜線を補完するバスの運行
- キャッシュレス化の推進
- AIやIoT等を活用した新モビリティサービスの導入 等



JR小浜線

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・小浜駅待合室等のリニューアルの支援
(小浜駅利用環境整備支援事業 30,116千円)
 - ・嶺南地域における移動手段確保等の取り組みを支援
(嶺南地域公共交通充実支援事業 35,423千円)
 - ・三方五湖エリアの広域バスの実証運行を支援
(三方五湖エリア広域バス実証運行等支援事業 9,454千円)

2 まちづくりと連携した施策の展開

- 駅周辺への都市機能・居住誘導
- 利用しやすい駅やバス停となるよう環境を整備

4 観光周遊手段の提供

- 嶺南の周遊観光に資する観光列車や特徴あるバス車両の運行
- 自転車による周遊の促進 等



小浜線レンタサイクル

3 公共交通サービス情報の充実

- 嶺南地域の鉄道・バス等の路線全体が分かる乗り換えマップなどの作成
- 鉄道・バス・レンタサイクル等の一体的な乗り継ぎサービスの提供 等

5 公共交通利用を促進する意識の醸成

- 地域住民、児童・生徒、事業所を対象としたモビリティ・マネジメント
- 沿線自治体による小浜線利用促進助成

産業基盤と地域交通ネットワーク

主体	県・市町	場所	エリア全域
事業費	約230億円～	期間	～2025

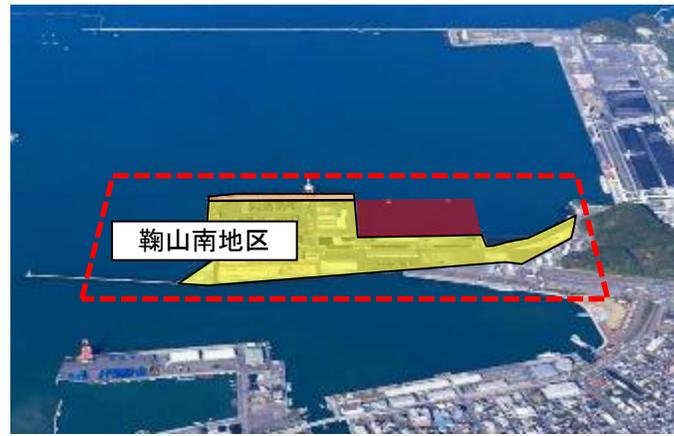
2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 舞鶴若狭自動車道の整備(民間、～2014) 国道27号金山バイパスの整備(国、～2014) 若狭美浜インター産業団地の整備(美浜町、～2016) スマートICの整備(敦賀市・若狭町・民間、～2017) 敦賀市第2産業団地の整備(敦賀市、～2019) 敦賀-博多新規航路開設(県、2019) 敦賀港将来計画の策定(県、2019～2021) おおい町しごとみらい産業団地の整備(おおい町、～2022) 	/	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀港の新航路誘致 敦賀港鞠山南地区の整備(国・県～2027) 内浦港ふ頭用地の拡張(県、～2025) 舞鶴若狭自動車道の4車線化(民間、2019～)

舞鶴若狭自動車道全線開通などにより、嶺南地域は関西・中京との多重型の環状ルートが形成されています。この二つの大都市圏に最も近い日本海側の地域としての特性を活かし、敦賀港における国際物流の拡大や嶺南地域全体への企業誘致を促進します。

また、敦賀港の機能拡張と高速道路沿線の新たな産業団地の整備など、一体的な基盤整備を推進します。



若狭美浜インター産業団地(美浜町山上)



敦賀港鞠山南地区国際物流ターミナル(敦賀市)

○ 2023年度実施事業【福井県】

- 敦賀港鞠山南地区の整備
(敦賀港鞠山南地区2期工事 461,100千円)
- おおい町しごとみらい産業団地整備の支援
- 敦賀港の利用拡大と新規航路誘致を促進

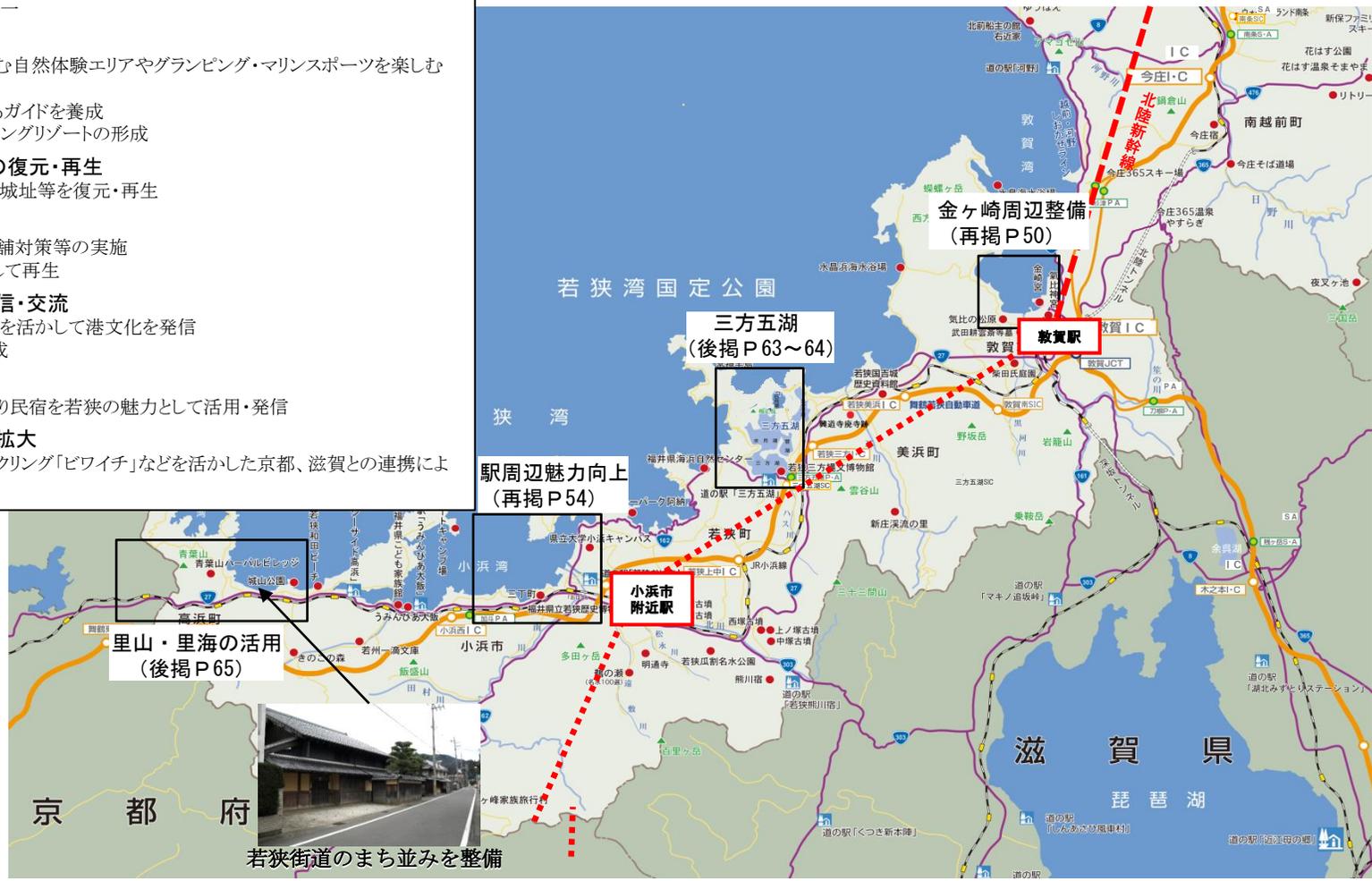
Ⅱ-3 (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産の活用」

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	未定

①海湖と歴史を活かした交流の拡大（交流人口）

敦賀に加え小浜にも新幹線駅ができ国内外から多くの人を訪れることを見込み、交流人口を拡大させるため、市町が力を合わせ、リアス海岸や三方五湖、北前船・鯖街道など、全国に誇る海湖と歴史を活かした観光の核を作り上げます。さらに、若狭湾エリアを中心に県境を越えて観光・交流エリアを拡大します。

- 【施策の方向性】**
- 海湖と緑をつなぐ「若狭の風景」の形成**
 - ・ビュースポットを保全するルール策定
 - ・景観を害する看板除去や色彩統一
 - 自然体験・リゾートエリアの形成**
 - ・自然学習やアクティビティを楽しむ自然体験エリアやグランピング・マリンスポーツを楽しむリゾートエリアの形成
 - ・海・湖の自然や歴史などを語れるガイドを養成
 - ・里海湖の景色を堪能するサイクリングリゾートの形成
 - 歴史遺産や古くからのまち並みの復元・再生**
 - ・鉄道や港の歴史遺産や旧街道、城址等を復元・再生
 - JR各駅の拠点機能の強化**
 - ・商店街のリノベーションや空き店舗対策等の実施
 - ・駅周辺を賑わいある交流の場として再生
 - 日本遺産の北前船を活かした発信・交流**
 - ・船荷問屋の建物などの文化資産を活かして港文化を発信
 - ・他の寄港地と新観光ルートを形成
 - 民宿集落の活性化**
 - ・民宿に泊まる仕掛けづくり等により民宿を若狭の魅力として活用・発信
 - 県境を越えて観光・交流エリアを拡大**
 - ・鯖街道や鉄道、琵琶湖一周サイクリング「ピワイチ」などを活かした京都、滋賀との連携による広域周遊ルートの設定



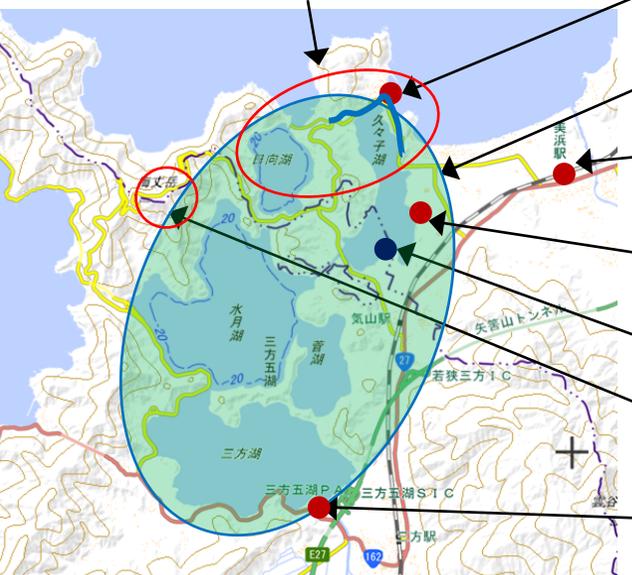
里湖の活用（三方五湖周辺エリア）

主体	県・市町・民間	場所	美浜町、若狭町
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「三方五湖」の整備(県、2014) 縄文ロマンパークの再整備(若狭町、2017) 三方五湖スマートICの整備(若狭町・民間、2017) 三方青年の家艇庫の整備(県、2015) 年縞博物館の整備(県、2018) 直売所・楽膳レストランの整備(美浜町、2018) 日本農業遺産の認定(美浜町・若狭町、2018) 「園芸LABOの丘」の整備(県、2019) 農業人材育成拠点(観光農園)の整備(美浜町、2021) 駅前線(美浜)の整備(県、2021) 地域づくり拠点化施設(「若狭美浜はまびより(道の駅)」)の整備(美浜町、～2022) 		<ul style="list-style-type: none"> 自然学習・体験の充実による教育旅行の誘致

三方五湖周辺の自然景観を整えるとともに、山頂公園や遊覧船の整備、サイクリングや自然体験プログラムを充実し、若狭湾エリアの周遊・滞在の拠点となる観光地をつくります。

○漁家民宿が集積する里海湖集落のにぎわい創出



- 美浜町レークセンター
- サイクリングロード、ウォーキングコース(後掲P64)
- 地域づくり拠点化施設(道の駅)
- 農業人材育成拠点施設(観光農園)
- 園芸体験施設「園芸LABOの丘」、健康楽膳拠点施設「こるぱ」(直売所・レストラン)の整備
- シジミ生息環境の整備(浅場造成)
- レインボーライン山頂公園(後掲P64)
- 年縞博物館、縄文ロマンパーク

○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・年縞博物館での特別展開催(年縞博物館特別展開催事業 2,379千円)
- ・里山里海湖の伝統的な人の営みや自然環境を学べる環境づくり(里山文化体験講座 476千円)
- ・市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業) 150,000千円の内数)

里湖の活用（三方五湖エリア活性化）

主体	県・市町・民間	場所	美浜町、若狭町
事業費	未定	期間	～2022

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・レインボーライン山頂公園等の整備 (県・町・民間、～2019) ・サイクリングロードの整備 (県・美浜町、～2019) ・電池推進遊覧船の実証実験 (美浜町、～2020) ・嶺南地域の結婚・婚活拠点の整備 (県・若狭町・民間、2021) ・レインボーラインにおけるレストラン・売店等の整備 (県・町・民間、～2021) ・電池推進遊覧船発着施設の整備 (県・美浜町、～2022) ・サイクリングロード・ウォーキングコースの整備、サイクルツーリズムの推進 (県・美浜町・若狭町、2020～) ・三方五湖有料道路の再整備・無料開放 (県、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設駐車場の混雑情報配信を支援 (県、美浜町、若狭町、民間 2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然学習・体験の充実による教育旅行の誘致 ・ナショナルサイクルルートの指定を目指したルート整備 (県、2021～)

レインボーライン山頂公園など観光拠点をレベルアップするとともに、飲食・宿泊の魅力向上、周遊ツアーや体験メニューの充実を図ります。



レインボーライン山頂公園



電池推進遊覧船



サイクリングロード(イメージ)



嶺南地域の結婚・婚活拠点

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・観光拠点等のレベルアップを支援 (三方五湖エリア活性化支援事業 4,875千円)
 - ・魅力向上に向けた全体協議会や広報施策の展開 (三方五湖エリア魅力アップ推進事業 1,500千円)
 - ・三方五湖周遊ルートを中心とする若狭湾広域サイクリングルートの整備 (若狭湾サイクリングルート整備事業 78,011千円)
 - ・三方五湖の観光施設駐車場の混雑情報配信を支援 (三方五湖エリア広域バス実証運行等支援事業 519千円)
- 2023年度実施事業【市町】
 - ・レインボーライン山頂公園の光ファイバー整備【若狭町】 (稼ぐ観光地づくり推進事業 5,775千円)

里山と里海の活用（おい、高浜エリア）

主体	県・市町	場所	高浜町、おい町
事業費	約24億円～	期間	～2030頃

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ハーバルビレッジの観光山野草園、ビジターセンターの整備(高浜町、2015) 八ヶ峰家族旅行村の再整備(おい町、～2016) きのこの森体験学習施設の整備(おい町、～2017) 頭巾山青少年旅行村の再整備(おい町、～2019) はまなすパーク施設整備(県、～2020) 		(※大阪開業頃までに実現を目指す施策) <ul style="list-style-type: none"> インバウンドにも対応したリゾートエリアの形成 赤礁崎オートキャンプ場の魅力向上 ブルーフラッグ認証ビーチの発信、誘客への活用(和田ビーチ) 城山公園の再整備 脇坂公園の整備 中寄眺望広場の整備 白浜グランピング施設の整備 総合運動公園の合宿施設の拡充(おい町、～2025)

ブルーフラッグビーチのアピールや、公園や宿泊施設等の整備により、自然学習や魚釣り・SUP・カヤック等のアクティビティを楽しむ自然体験エリア、グランピングやマリレジャーを楽しむリゾートエリアをつくります。

公園宿泊施設の再整備



城山公園

ブルーフラッグビーチのアピール



若狭和田ビーチ

合宿施設の拡充



おい町総合運動公園

展示庭園や散策道等の整備



ハーバルビレッジ

頭巾山青少年旅行村の再整備



ホテル流星館



○2023年度実施事業【福井県】

- ・市町と連携した観光地周辺の景観整備(嶺南振興プロジェクト枠予算(ハード事業) 150,000千円の内数)

○2023年度実施事業【市町】

- ・ブルーフラッグビーチの発信【高浜町】(観光振興事業 7,128千円)

都市との近接を活かした交流拡大

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

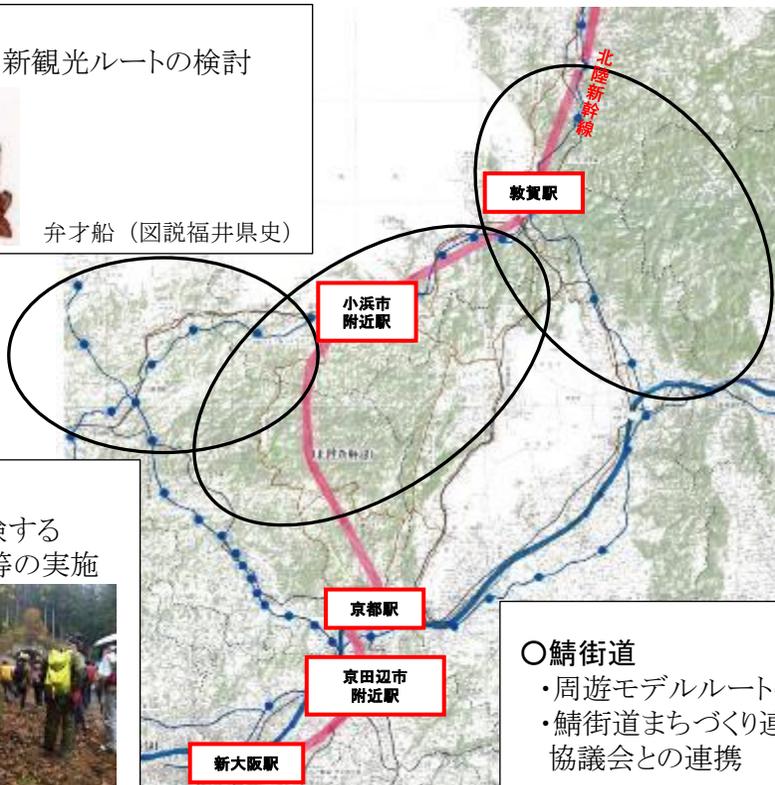
2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県境の市町との交流ミーティングの開催 (県、2017～) ・滋賀県・京都府との3府県連携観光促進協議会の設置(県、2016) ・美浜町新庄地区のトレッキングコース整備 (美浜町、～2017) ・西の鯖街道および「八ヶ峰～頭巾山」のトレッキングコース整備(高浜町、おおい町、～2019) 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県や京都府と連携した日本遺産等を活用した観光誘客(県、2017～) ・河内川ダムの周辺整備 (県・若狭町、2017～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北前船寄港地との広域観光拡大 ・コンベンションの誘致

鯖街道の往来や北前船、鉄道、湖など共通のテーマにより観光エリアを形成し、大都市との近接を活かして県境を越えた大きな若狭湾エリア全体で人を呼び込みます。

○北前船
・寄港地を巡る新観光ルートの検討



弁才船 (図説福井県史)



○鉄道遺産
・旧北陸線トンネル群などを巡るツアーの実施



小刀根トンネル

○河内川ダムの周辺整備
・山座熊川アウトドアベースの整備



イメージ図

○西の鯖街道
・旧街道を体験するウォーキング等の実施



西の鯖街道

○鯖街道
・周遊モデルルートの開発
・鯖街道まちづくり連携協議会との連携



鯖街道体験ウォーキング

○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・滋賀県や京都府と連携した観光誘客 (三府県連携観光促進協議会が事業実施)
- ・日本遺産を活用した誘客拡大 (ふくい日本遺産活用促進事業 4,300千円)
- ・市町の外国人観光客受入環境整備事業を支援 (北陸新幹線開業に向けたインバウンド対策事業 18,128円の内数)

○ 2023年度実施事業【市町】

- ・鉄道遺産の活用による誘客【敦賀市、南越前町】
- ・鯖街道の活用による誘客【小浜市】
京都レストランと連携した小浜よっぱらいサバの特別メニュー提供(1,650千円)
御食国まち歩きマルシェ開催による観光誘客(3,000千円)
- ・河内川ダムの周辺整備【若狭町】
(稼ぐ観光地づくり推進事業 109,280千円)

Ⅱ-3 (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	未定

②若狭フード・コーストの形成（特徴発揮）

古来から御食国として都の食を支えた若狭の伝統的な食の加工技術と、ICTにより生育環境を制御する園芸施設など最新テクノロジーの双方が融合する食産地を形成し、エリアの経済・雇用を支える産業に成長させます。

【施策の方向性】

伝統技術を活かした食品加工産業の集積

- ・へしこや梅干し等、伝統的な保存・加工技術を活かした食品加工産業を集積

園芸の一大産地化

- ・高付加価値野菜の大規模施設園芸の集積
- ・菓草等の有用植物の栽培拡大

先端技術の活用による漁業の効率化・高付加価値化

- ・定置網や養殖へのIoT技術導入による漁業の効率化
- ・水産業の高付加価値化、ブランド化を推進

御食国の食ブランドの磨きあげ

- ・海・湖・山の幸のブランド化の促進
- ・一流シェフの料理を楽しむレストランの誘致



園芸の一大産地化

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・ハーバルビレッジの観光山野草園、ビジターセンターの整備 [P65再掲] ・薬草加工施設等の整備 (高浜町、～2018) ・大規模園芸施設の整備 (県・市町・民間、2014～2019) ・植物工場の整備 (県、小浜市、2019～) ・観光農園の整備 (県、美浜町、～2021) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光農園の整備 (県、南越前町、2022～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物工場の整備 (県・市町、2019～) ・スマート園芸施設の整備 (県・市町、2020～)

ICTを活用したスマート園芸施設の導入による周年栽培野菜の産地を形成するとともに、薬草の生産拡大や加工販売等による有用植物の産地化、観光農園の整備などを進め、園芸の一大産地を形成します。

○スマート園芸施設による周年栽培の拡大

- ・ICTを活用し、環境データに基づく高度環境制御栽培施設の整備
- ・トマトやキュウリ等の周年栽培の拡大



ミディトマトを栽培するスマート園芸施設

○薬草の産地化

- ・育苗・加工施設の整備
- ・薬草の展示施設の整備
- ・漢方薬の原料となる薬草の栽培



薬草加工施設

- 2023年度実施事業【福井県】
 - ・スマート園芸導入に係る初期の経営安定化対策 (スマート施設園芸拡大推進事業 274,465千円の内数)
 - ・観光農園の整備に係る費用を支援 (農山漁村交流人口拡大施設整備事業 11,389千円)
- 2023年度実施事業【市町】
 - ・薬草商品開発等、薬草産地化を促進【高浜町】 (薬草産地化推進事業 13,556千円)

○オールシーズン楽しめる果実産地の形成

- ・イチゴやブドウなどの観光農園の整備



○園芸の体験・学習施設の整備 (P65再掲)

- ・園芸研究センターに野菜や果物の調理および科学体験施設やレストラン・直売所等を整備



園芸体験施設「園芸LABOの丘」 (美浜町)

○植物工場の立地促進

- ・植物工場の参入企業の誘致
- ・人工光型植物工場の整備



水産業の高付加価値化・ブランド化

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 水産加工施設(敦賀市)の整備(民間、~2015) 熟成魚等の生産加工施設整備(美浜町・民間、2016) 食文化館の再整備(小浜市、2014) 旧田鳥小学校を活用した加工・体験施設の整備(小浜市、~2019) ふくい水産振興センターの整備(県、~2019) 「若狭ぐじ」や「越前がれい」のプレミアムブランドを創出(県・市町・民間、2020) 「ふくい甘えび」のブランド化(県・市町・民間、2021) 6次産業施設「UMIKARA」の整備(高浜町、~2021) 	<ul style="list-style-type: none"> 高浜漁港の再整備(高浜町、~2023) 福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備(県、2020~) 養殖イワガキのブランド化(県、~2023) ウナギ漁獲量拡大に向けた放流調査(県、~2023) 	<ul style="list-style-type: none"> 若狭まはたやふくいサーモン、イワガキの養殖生産の拡大 水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」の整備 シジミやウナギの漁獲量の拡大(※大阪開業頃までに実現を目指す施策) 陸上養殖の実現 IoTを活用した鯖養殖の効率化 カキ養殖に係る新技術の導入 京都レストランと連携した小浜よっぱらいサバの特別メニューの提供

新技術を活用した養殖生産の拡大と天然資源の持続的利用を進めるとともに、IoTやAIの活用による漁業の効率化、ブランド化による商品価値の向上・販路拡大等により漁業の高付加価値化を図ります。

○養殖の振興、販路拡大

- マハタ養殖技術の普及、販路拡大
- ふくいサーモンの養殖生産の拡大
- IoTやAIの活用による鯖養殖の効率化



○6次産業化の推進

- 加工用機器を整備し、漁業者グループによる地魚加工品の販売を拡大
- 高浜漁港に地魚売り場やレストランを整備



地魚売り場

○地魚の戦略的販売

- プレミアムブランド「若狭ぐじ極」、「越前がれい極」「若狭まはた」「ふくい甘えび」の認知度向上
- 嶺南のブランド魚(フグやマダイ)を取扱う嶺北の店舗を拡大
- サーモンや甘えび、カキをブランド化し、販路を拡大



若狭ぐじ



越前がれい

○2023年度実施事業【福井県】

- 福井県立大学新学科棟の整備(県立大学先端増養殖科学科開設事業 1,356,531千円)
- ふくい水産振興センターを活用した共同研究の推進(トラウトサーモン共同研究事業 2,531千円、「若狭の鯖」養殖技術の最適化研究 2,000千円、イワガキ養殖技術開発 2,577千円)
- ブランド魚の販路拡大、養殖生産の拡大(マハタ種苗生産事業 16,384千円)(福井県イワガキブランド化事業 576千円)
- 養殖業の生産拡大を支援(養殖業生産拡大支援事業 4,666千円(債務負担額))

○2023年度実施事業【市町】

- IoT等、最新技術を活用した養殖【小浜市】(「鯖、復活」養殖技術開発事業 5,900千円)(小浜よっぱらいサバ販売促進支援事業 1,500千円)(かき養殖新技術導入プロジェクト 1,359千円)
- 高浜漁港の再整備【高浜町】(高浜漁港再整備事業 15,400千円)

Ⅱ-3 (2) 自然・歴史・産業基盤などの「ふるさと資産」の活用

主体	県・市町・民間	場所	敦賀市・若狭町
事業費	未定	期間	継続実施

③自然環境の活用とエネルギー開発の共立（学術・研究の拠点戦略）

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー研究開発拠点化計画の推進(県・国・民間・大学等、2005～2019) ・里山里海湖研究所の設置(県、2013～) ・国際原子力工学研究所の敦賀市への移転(福井大学、2012～) ・アジア原子力人材育成会議の開催(2010～) ・年縞博物館の整備(県、～2018) ・ハーモニアスポーツ構想の策定(敦賀市、～2018) ・次世代エネルギーパークの認定(県、～2020) 	<ul style="list-style-type: none"> ・嶺南Eコースト計画の推進(県・国・民間・大学等、2020～) ・エネルギーの多元化に向けた研究開発の支援(敦賀市、2018～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際シンポジウムの誘致(※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ・新たな試験研究炉の整備に着手(国)

環境保全と原子力・エネルギー開発に同時に貢献する若狭湾エリアにおいて、世界的な価値をもつ水月湖年縞の研究・教育拠点や世界の人材育成・技術開発に貢献する原子力・エネルギー等の中核的研究開発拠点を形成し、国内外から研究者や学生が集まる研究エリアをつくります。



○ 2023年度実施事業【市町】

- ・エネルギーの多元化に向けて民間企業の研究開発を支援【敦賀市】

新たな試験研究炉



主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	継続実施

Ⅱ-3 (3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致

① まちづくりや産業のプレイヤーの育成（人材育成）

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・園芸カレッジの開講(県、2014～) ・かみなか農楽舎の開設(旧上中町・民間、2004～) ・漁業集落の活性化(県・市町、2018～) ・福井県立大学創造農学科の開設(県、～2020) [P23再掲] ・農業人材育成拠点の整備(美浜町、～2021) ・チャレンジショップの整備(おおい町、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・御食国 食の学校における食関連産業の担い手育成(小浜市、2020～) ・福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備(県、2020～) [P69再掲] ・観光地域づくりプレイヤーの育成(県、2021～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水産学術産業拠点において育成した人材の地元定着(県、2022～) ・水産カレッジの開講(県、2015～)

農林水産や観光などで、自らのまちを自らの手で元気にする人を増やすとともに、若狭湾エリアで新しい地域づくりやビジネスにチャレンジする人材を外から呼び込みます。

○地域全体で漁業集落を活性化

- ・漁業体験等のメニューの充実化等により、地域全体で誘客を促進



教育旅行での漁業体験

○農業や水産業等の人材を育成

- ・新規就農者への研修や農業インターンの受入れ(かみなか農楽舎、おおい町一次産業活動拠点施設)
- ・園芸カレッジにスマート園芸コースを設置
- ・水産カレッジで漁船漁業や養殖等の座学や実習を実施
- ・漁師塾での新規就業希望者を支援
- ・福井県版DMOが観光地域づくりプレイヤーを支援

○大学との連携による漁村の交流拡大

- ・改修した廃校を拠点に、漁業体験や地元との交流イベント等を大学と連携して実施



学生による海岸清掃

○都市部の若者と地域が連携して課題を解決

- ・地域の活性化に向けた課題や地域資源の活用等について検討し、解決策を実行

○2023年度実施事業【福井県】

- ・園芸カレッジや水産カレッジでの研修(農林水産業を支える人材育成 42,251千円の内数)
- ・園芸人材育成拠点(研修施設)の整備を支援(地域で育てる園芸人材サポート事業 8,000千円)
- ・観光地域づくりプレイヤーを育成(DMOによる観光地域づくり推進事業 170,570千円)
- ・水産学術産業拠点において育成した人材の地元定着(養殖業生産拡大支援事業 4,666千円(債務負担額))

○2023年度実施事業【市町】

- ・水産業の新規就業希望者への知識・技術等の習得を支援【小浜市】(小浜漁師塾研修支援事業 563千円)
- ・食や農業・農村の担い手を育成【小浜市】(御食国 食の学校 29,361千円)
- ・若者の移住・起業を支援【若狭町】(わかさりノベーション活性化事業 1,000千円)
- ・都市部の若者が地域の課題を検討【若狭町】(若狭暮らしと起業支援事業 1,500千円)

○UIターン者や若者の創業を応援

- ・うみんぴあ大飯内にチャレンジショップを整備し、若者の起業を促進



うみんぴあ大飯

Ⅱ-3 (3) 若狭湾エリアを担う人材の育成・誘致

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	～2030頃

②都市との交流を通じたライフスタイル先進地の形成 (定住戦略)

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 三丁町や旧丹後街道の街路整備、電線地中化等の実施(小浜市、～2017) 熊川宿にシェアオフィス「菱屋」を整備(若狭町・民間、2017) 移住交流体験施設や体験農園の整備(美浜町、～2017) 敦賀市立看護大学に大学院・助産学専攻科を設置(敦賀市、2018～) こども家族館のリニューアル(県、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> 熊川宿の古民家改修(若狭町、2017～) IT・サービス業などの企業誘致(県、2018～) 住民と地域内外の大学生との協働による地域づくりプロジェクト(小浜市、2020～) メガソーラーや水素ステーションを活用したVPP実証(県、2021～) VPPと連動したEVカーシェア実証(県、2020～) 	<ul style="list-style-type: none"> スマートタウン等の整備(県・市町、2021～) (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) 駅に近接した子育て支援施設や医療機関等の整備 嶺南地域における「スマートエリア」の形成

都市部を離れ、子育て環境がよく自然が豊かな嶺南地域に居住する人向けに、古民家リノベーションや体験農場整備により、憧れの生活エリアを形成するとともに、ITやサービス業など多様な業種の県内進出の促進、空き家等を活用したサテライトオフィスの誘致などにより、クリエイティブに働くエリアをつくります。

○重伝建地区での交流施設の整備

- 熊川宿の古民家シェアオフィス、ホテル、ショップ等に改修



古民家を改修したシェアオフィス

○移住交流体験施設や体験農園の整備

- 古民家を改修した移住・交流体験施設や隣接する体験農園の整備



移住居住体験施設「黄舎」(美浜町)



美浜東美し野いきいき農園(美浜町)

○VPP (仮想発電所) 実証

- シェアEVを活用した実証実験



シェアEV

○スマートタウンの整備

- スマートエリア推進補助金による支援事業



高浜町 スマートエリア(イメージ)

○ 2023年度実施事業【福井県】

- 熊川宿重要伝統的建造物群保存地区の建造物等の修理への支援(重要伝統的建造物群保存地区整備事業補助金交付事業 2,000千円)
- 本社機能の誘致やU・Iターン者の雇用促進(企業誘致補助金)
- サテライトオフィスの誘致(28P再掲)
- VPPと連動したEVカーシェア実証・嶺南スマートエリア推進補助金等によるスマートエリアの形成(嶺南スマートエリア推進事業 131,561千円)

○ 2023年度実施事業【市町】

- 熊川宿の民家の修理・修景を支援【若狭町】(熊川保存整備事業 3,718千円)

主体	県・市町・民間	場所	エリア全域
事業費	未定	期間	～2030頃

嶺南Eコースト計画の推進

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> エネルギー研究開発拠点化計画の推進 (県・国・民間・大学等、2005～2019) 	<ul style="list-style-type: none"> 嶺南Eコースト計画の推進 [P70再掲] メガソーラーや水素ステーションを活用したVPP実証 [P72再掲] 	<ul style="list-style-type: none"> スマートタウン等の整備 [P72再掲] (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) 新たな試験研究炉の整備に着手(国) 嶺南地域における「スマートエリア」の形成

嶺南Eコースト計画に基づき、嶺南地域を中心に、原子力をはじめ再エネを含む様々なエネルギーを活用した地域経済の活性化やまちづくりを目指すことにより、人・企業・技術・資金(投資)が集まるエリアの形成を図ります。

[嶺南Eコースト計画が目指す嶺南地域の将来像]

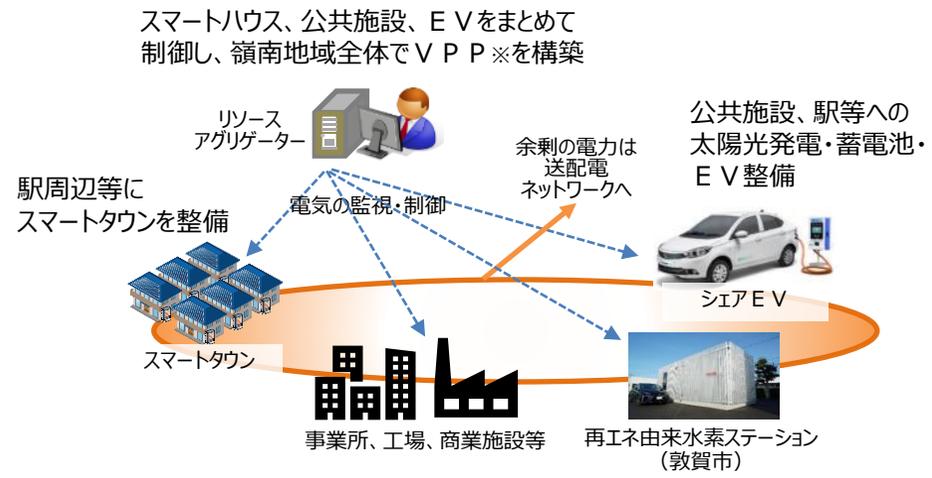
○原子力関連研究の推進および人材の育成拠点の形成

敦賀エリアを中心に、国内外の大学・企業・研究機関から幅広い人材が集まる、新たな試験研究炉を活用した最先端の研究開発・人材育成の拠点を形成することにより、地域を活性化



○様々なエネルギーを活用した地域振興

嶺南地域に、便利で災害にも強く、環境にもやさしいスマートエネルギーエリアを創出。地域全体の付加価値が高まり、文化的・健康的に暮らせるライフスタイル先進地「WAKASAリフレッシュエリア」の実現に繋げる



※VPP(バーチャルパワープラント: 仮想発電所)
多数の小規模な発電所や、電力の需要抑制システムをまとめて制御すること

Ⅲ 広域プロジェクト・ソフト施策

○主な関連事業の年次計画

実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140 年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
県 約122億円	えちぜん鉄道の高架化									
民間 —			北陸本線へのICOCA導入・運用							
県・町・民間 —		自動走行システムの実証			自動走行システムの実用化・新モビリティサービスの導入					
県・市町・民間 —	並行在来線 需要予測調査	収支予測調査		並行在来線準備会社設立 経営計画策定			(株)ハピラインふくいへ改称 並行在来線会社への増資・本格会社移行		開業・運行	
県・市町・民間 —				並行在来線新駅設置						
県・市町・民間 —				設置可能性調査						
県・市町・民間 —							並行在来線 駅・駅周辺の整備 の検討		駅機能や 交通結節機能の向上、 駅中心のまちづくり	
民間 —	新幹線駅等からの二次交通の充実									
市町・民間 —	広域バスや特急バスの運行									

二次交通

Ⅲ 広域プロジェクト・ソフト施策

○主な関連事業の年次計画

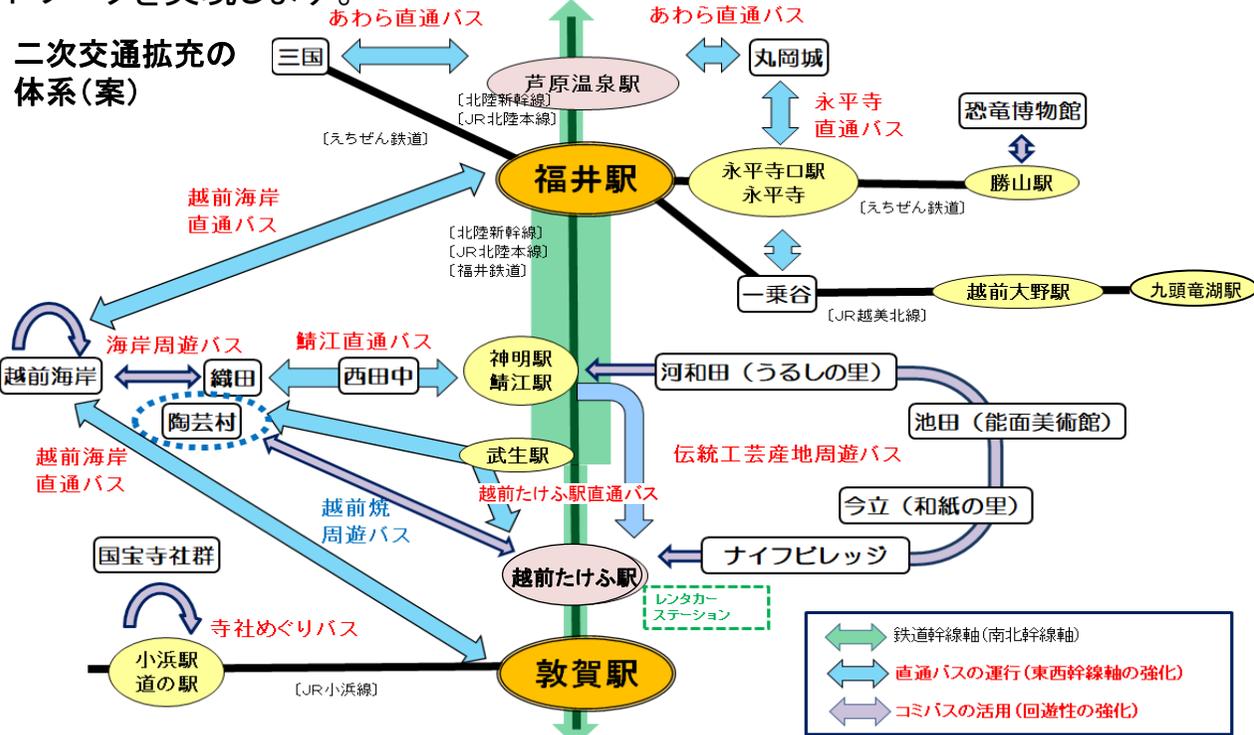
	実施主体 2016～事業費	2016 (H28)	2017 (H29)	2018(H 30) (福井国 体)	2019 (R1)	2020(R2) (置県140年)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023(R5) (福井・敦賀開 業)	2024 (R6)	2025 (R7)
里山ビジネス	県 — 約4億円 県 — 約2億円	中山間地域の誘客施設の整備 ふくい農業ビジネスセンターの整備 ふくいワインカレッジの開講 林業研修センターの整備									
発文化	県・市町 —	日本遺産認定の拡大									
景観づくり	県・市町 — 県・民間 — 県・市町・民間 —	広域景観ガイドライン策定 文化的景観保存調査 福井ふるさと広域景観の形成 屋外広告物の撤去・改修 花の景観づくり									

III - (1) 地域公共交通ネットワークの拡充

主体	県・市町・民間	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ〔P3再掲〕 ・福井鉄道福武線福井駅前線の延伸〔P3再掲〕 ・福井市内循環鉄道の調査(県、2016) ・えちぜん鉄道の高架化〔P3再掲〕 ・北陸本線へのICOCAの導入(民間、2018) ・並行在来線新駅設置可能性調査(市町、2020) ・福井県並行在来線経営計画策定(協議会、2021) ・福井県並行在来線地域公共交通計画策定(協議会、2021) ・並行在来線新駅設置に向けた測量・設計(王子保・武生間)(民間、2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドバス等の実証運行〔P60再掲〕 ・嶺北地域公共交通計画の策定(県・市町・民間、2022~2023) ・路線バスへのICOCA導入(県・民間、2022~) ・並行在来線新駅設置に向けた詳細設計(王子保・武生間)(民間、2023~) ・ハピラインふくい観光列車導入調査(県、2023~) ・えちぜん鉄道 恐竜列車の導入(県・民間、2023~) ・福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの改修(県・民間、2023~) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅からの二次交通の確保〔P17他再掲〕 ・JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定〔P60再掲〕 ・JR越美北線の利便性の高いダイヤ設定 ・小浜線での観光列車の運行 ・福井鉄道、えちぜん鉄道へのICOCA導入 ・福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの運行 ・えちぜん鉄道 恐竜列車の運行

新幹線駅を中心として、JR・ハピラインふくい、地域鉄道、バス等を一体的に組み合わせ、利便性の高い地域公共交通ネットワークを実現します。



今後の拡充方針

- (JR・ハピラインふくい、地域鉄道)
- ・ハピラインふくい、地域鉄道の事業連携を強め、経営とサービスを強化
 - ・ハピラインふくいへの新駅設置
 - ・小浜線の便数・ダイヤ見直し、観光列車の運行
 - ・越美北線の利便性の高いダイヤ設定
- (路線バス、コミュニティバス)
- ・市町を超える広域路線バスの維持・拡充
 - ・新幹線駅から地域鉄道駅等へのバスでの接続強化
 - ・コミュニティバスを休日の観光地循環バスに活用
 - ・福井駅から主要観光地への特急バスを運行
 - ・住民との協働バス運行
- (その他)
- ・AIやIoT等を活用した新モビリティサービスの導入(観光地や宿泊施設等と連携した観光型MaaS(※)等)
 - ・キャッシュレス化の推進
 - ・駅や公共施設等への太陽光や再エネ設備の導入
 - ・観光客向けカーシェアリングの拡大
 - ・道路空間の再配分により、歩行者や自転車の快適な利用環境を確保

※MaaS(Mobility as a Service)

ICTを用いて複数の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うことが可能となるサービス

主体	県・市町	場所	全域
事業費	未定	期間	～2023

III - (2) 里山里海湖ビジネスの拡大

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模農業者チャレンジ応援基金造成(県、2015) ・ふくい農業ビジネスセンターの設置(県、2016) ・ふくい林業研修センターの整備(県、2017) ・農遊コンシェルジュの認定(県、2021～2022) ・新たなトレイルコースの整備(若狭町、～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地と農村を回遊する仕組みづくり(県、～2023) 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山里海湖ビジネスを企画・運営する人材の育成(県、2018～) ・ふくいワインカレッジの開講(県、2018～) ・農村を回遊する取り組みを促進(県、2023～) ・オーベルジュの誘致(県、～2025)

福井県の農林水産物の生産はコメが中心であり、園芸や食品関連製造業の育成が必要です。大規模施設園芸等の導入に加え、「利益の上がる農林水産業」に転換するための柱の一つとして、里山里海湖の地域資源を活かした誘客と新商品の開発を一体的に進め、特色ある里山里海湖ビジネスを展開します。

ふくい農業ビジネスセンター



ワインブドウ栽培、ワイン醸造に関する人材育成の機能追加

漁家民宿の充実

三方五湖周遊のトレイルコース(約26km)

福井平野周遊のトレイルコース(約61km)

ふくい林業研修センター

菊炭

香福茸(ジャンボしいたけ)

越前オウレン

九頭竜まいたけ

薬草や中山間地域における果樹等の研究



熊川くず

研磨炭

福井百歳やさい生産振興地(23品目)

▲ 特用林産物の生産・加工

○ 2023年度実施事業【福井県】

- ・オーベルジュ(宿泊機能付きレストラン)の誘致
- ・観光地と農村を回遊する仕組みづくり(農遊促進事業 10,620千円)
- ・里山里海湖ビジネス実践者の育成(里山里海湖ビジネス実践力強化事業 4,687千円)
- ・ワインブドウ栽培、醸造にかかる人材の育成(ふくいワイン事業 5,658千円)
- ・林業ビジネスの拠点機能の強化(ふくいの林業スタートアップ事業 4,406千円)
- ・トレイル関連の情報発信(トレイルアプリの運営)(ふくいの森林の魅力新発見事業 251千円)



ふくい林業研修センター

林業・木材産業や特用林産物等に関する人材育成、生産・販売支援の機能を強化

主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (3) 日本遺産・世界遺産による歴史・文化発信

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> ユネスコ無形文化遺産「和食」登録(2013) 日本遺産「御食国若狭と鯖街道」(国、2015)、「北前船寄港地・船主集落」、「越前焼(六古窯)」(国、2017)、「中世・近世のまちづくり」(国、2019)、「鉄道遺産」(国、2020)認定 日本農業遺産「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」認定(国、2018) 	<ul style="list-style-type: none"> 一乗谷ミュージアム化の推進[P7、8再掲] 	<ul style="list-style-type: none"> 無形文化遺産の登録 大河ドラマや朝の連続テレビ小説の誘致

福井県の歴史遺産や伝統文化の価値を、日本遺産や世界遺産への登録等により高め発信し、インバウンド誘客を強化します。また、学術的な調査研究に加え、遺跡復元や周辺の景観づくりを促進します。

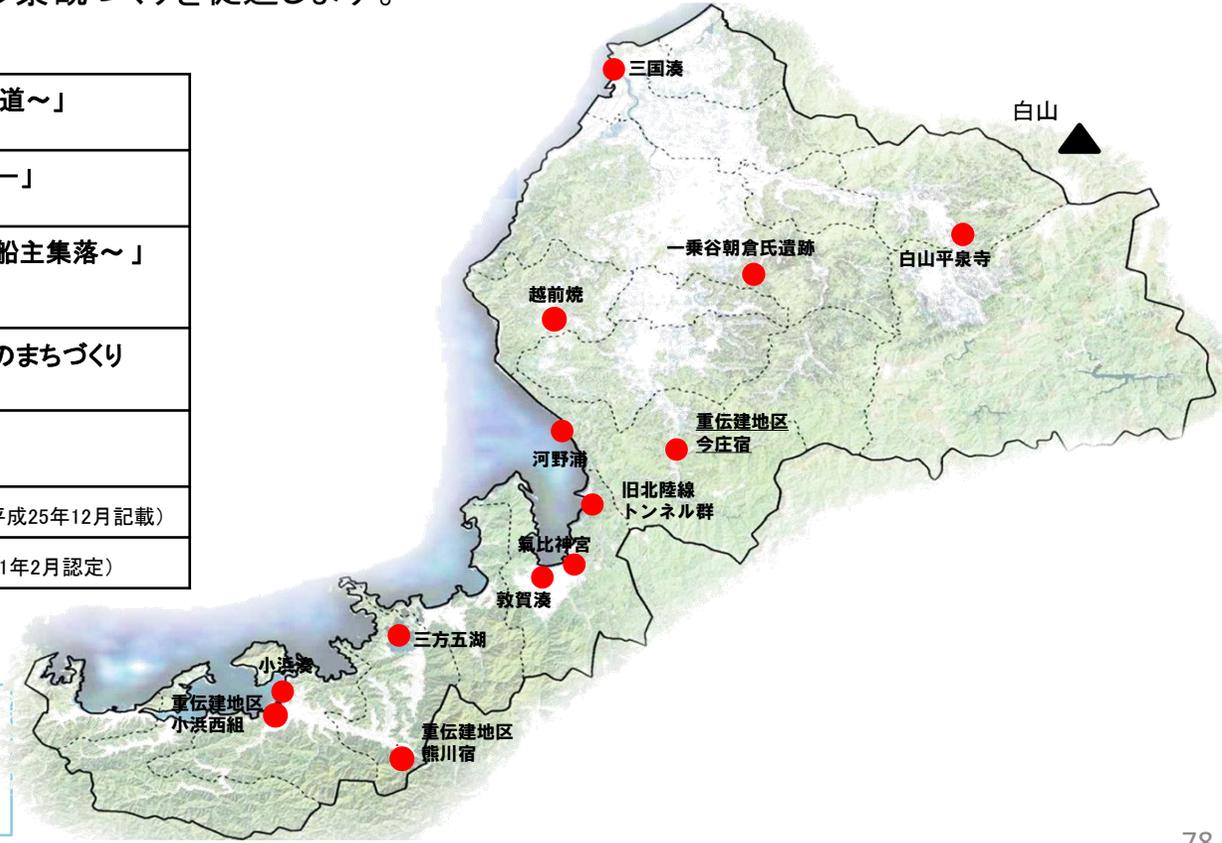
<認定>

日本遺産	「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」 (平成27年4月認定)
	「きっと恋する六古窯ー日本生まれ日本育ちのやきもの産地ー」 (平成29年4月認定 越前町ー越前焼)
	「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」 (平成29年4月認定 敦賀市-敦賀湊、南越前町-河野浦) (平成30年5月認定 坂井市-三国湊、小浜市-小浜湊)
	「400年の歴史の扉を開ける旅 ～石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井～」(令和元年5月認定)
	「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～」 (令和2年6月認定)
他	ユネスコ無形文化遺産:「和食 日本人の伝統的な食文化」(平成25年12月記載)
	日本農業遺産:「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」(平成31年2月認定)

※日本遺産認定は令和2年度で終了

ユネスコ無形文化遺産

「渡来芸・舞台芸(福井市-糸崎の仏舞)」、「田楽(福井市-睦月神事、池田町-水海の田楽・能舞)」の登録要請
「和紙」の追加登録要請(越前市-越前和紙)



主体	県・市町	場所	全域
事業費	ソフト事業	期間	継続実施

III - (4) 里山里海湖の景観の保全・活用

2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
<ul style="list-style-type: none"> 福井ふるさと百景の設定(県、2011) 伝統的民家群保存活用推進地区の設定(県、2011～) ふくいふるさと音風景の募集(県、2015) 福井ふるさと広域景観軸の設定、広域景観ガイドラインの策定(県、2016～) 屋外広告物の規制強化(県、2016～) 国体に向けた花の景観づくり(県、2016～2018) 「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定(市町、2020) 新幹線から見える大景観、新幹線を眺める ビュースポット(視点場等)の整備 (県・市町、2018～2022) 	<ul style="list-style-type: none"> 里山里海湖等の広域景観の形成 (県、2016～) 新幹線開業に向けた花の景観づくり(県、2020～) 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線開業後の花の景観づくり

里山里海湖や伝統的民家のまちなみなど、福井らしい景観を創造し、観光資源として発信します。さらに、新幹線車窓から眺望できる大景観と新幹線を眺めるビュースポットをつくります。

広域景観の形成

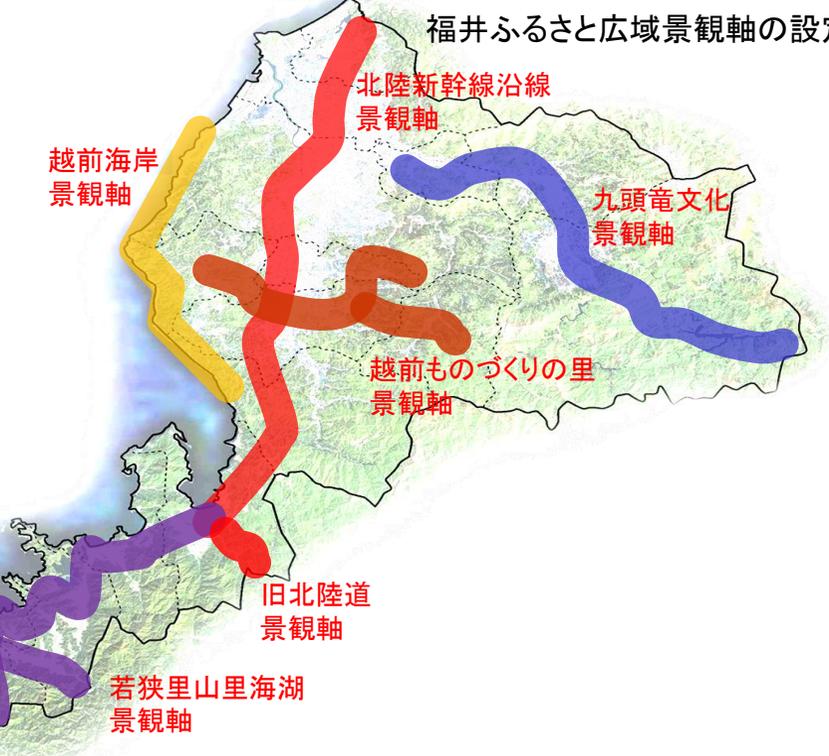
福井ふるさと広域景観軸の設定



越前町梨子ヶ平の越前水仙



三方五湖周辺の梅林



○ 2023年度実施事業【福井県】

- 花の景観づくりに関する研修の開催および地域や学校での花づくり活動の支援
(花と緑の美しいまちづくり推進事業 6,652千円)

IV 市町等の応援方策

観光やまちづくりの中心は市町であり、県は広域的視点からの取組みを総合化し、県全体として底上げする役割を担います。本冊子に掲げた各プロジェクトを推進するため、市町が地域住民等とともに実行するプロジェクトを県独自の仕組みをつくり、積極的に応援します。

まちづくり、定住・移住促進に関する主なもの

- 市町協働による地域みらい応援プロジェクト(2020～)
 - ・地域資源の磨き上げや、おもてなし拡大のための二次交通整備、移住・定住を呼び込む環境整備を応援
- ふるさと創造プロジェクト(2012～2017)
 - ・地域資源を活用した市町の魅力ある地域づくりを応援
- 「新ふるさと創造」推進事業(2016～2019)
 - ・ふるさと創造プロジェクトの発展のため、担い手の育成や既存施設の改修を応援
- 新モビリティサービス推進事業(2019～)
 - ・地域公共交通へのICT等の導入や自家用有償旅客運送など、地域の移動手段の利便性向上の取組みを応援
- 北陸新幹線三駅周辺整備推進事業(2016～)
 - ・新幹線駅設置3市が実施する駅前広場や駐車場などの駅周辺整備を応援
- 並行在来線駅まち魅力づくり支援事業(2023～)
 - ・ハピラインふくいの利用者増加につながる交通利便性の向上や駅を中心としたまちづくりに取り組む市町を支援
- ふくい創生・人口減少対策
 - ・定住や移住促進のため、長期滞在受入に向けた環境整備や空き家の取得等を応援

主な施策

- ・テレワーク推進事業(2020～)
- ・住み続ける福井支援事業(2020～)
- ・空き家対策支援事業(2020～) 等

産業・ビジネス、観光振興に関する主なもの

- 北陸新幹線開業に向けたインバウンド対策事業(2019～)
 - ・観光地・宿泊施設の外国人観光客受入環境整備を応援
- 民宿リニューアル支援事業(2020～2022)
 - ・市町が行う民宿の魅力向上や受入環境整備、地域一体となった観光地再生に取り組む民宿の大規模改修を応援
- 多様な宿泊施設整備支援事業(2023～)
 - ・観光資源を活かしたコンセプトルーム等、来県の目的となるような多様かつ魅力的な宿泊施設の整備を支援
- 観光まちなみ魅力アップ事業(2012～2017)
 - ・伝統的まちなみや地域独自の歴史・文化を活かした観光地のスケールアップを応援(事業費総額 約50億円)
- 周遊・滞在型観光推進事業(2016～2022)
 - ・観光資源をネットワーク化し、エリア全体の誘客力を強化する施策を応援
- 産業観光ビジネス支援事業(2020～)
 - ・デザイナー等の監修による見学・体験メニューを開発する企業を応援
- 農山漁村交流人口拡大施設整備事業(2020～)
 - ・道の駅等からの観光客を農村漁村に呼び込むため、周辺地域を回遊するための施設整備を応援
- 産業団地整備事業(2013～)
 - ・市町における産業団地整備を応援
- 嶺南振興プロジェクト枠予算(2019～)
 - ・関係市町と連携し、観光振興等の地域課題解決に迅速に対応
- 稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業(2022～)
 - ・JR西日本、旅行会社と連携し、魅力ある旅行商品の造成を進めるため、市町が行う体験メニュー開発や観光素材の磨き上げを応援

V 近隣府県との連携プロジェクト

高速交通ネットワークの完成により、福井は東西南北に開かれた地域になります。

そのため、各地の都市や地域、産業、観光などの基盤づくりに加えて、近隣府県と連携し、福井へのヒト・モノ・カネ・情報の行き来を活発化するプロジェクトを重点的に実行します。

- 北陸新幹線沿線地域と連携した福井の食魅力向上・発信事業(2020～)
 - ・北陸新幹線沿線地域等において著名シェフや本県料理人協働による料理イベントを開催し、本県の食と食文化の魅力を発信
- 北陸三県共同観光客誘致拡大事業(2006～)
 - ・石川県、富山県と連携し、Japanese Beauty Hokurikuなどの誘客キャンペーン等を実施
- 北陸新幹線沿線エリアでのPR強化事業(2020～)
 - ・首都圏や北陸新幹線沿線地域において、出向宣伝やイベントの開催等の本県の魅力を発信するPR活動を実施
- 関西・中京圏からの誘客強化事業(2020～)
 - ・JR大阪駅および名古屋駅周辺において恐竜ライブショー「DINO-A-LIVE」等を活用した観光PR を実施
- 関西等の観光団体と連携による「大阪・関西万博」外国人観光客誘致事業(2020～)
 - ・関西の観光団体や万博協会との連携し、万博来場者をターゲットとした広域旅行商品の造成や情報発信等を実施
- 「WAKASAリフレッシュエリア」関西圏大学生発イメージ発信強化事業(2021)
 - ・新幹線全線開業に向け、関西圏大学生が嶺南地域を体験し、イメージビデオを作成、関西圏を中心に発信
- 農産物の販路拡大支援事業(2019～)
 - ・嶺南地域の農産物等の販路拡大や知名度向上を図るため、県内事業者が行う、関西を中心とした県外へのアンテナショップ開設等を支援
- 小松空港を活用した誘客プロモーション事業(2017～)
 - ・石川県との連携による台湾メディアを活用したPR、県民に向けた国際線利用促進のための広報等を実施
- 北陸三県並行在来線連携事業(2023～)
 - ・観光・イベント列車の運行や企画切符の販売、スタンプラリーの実施など北陸三県・三社が連携した事業を実施

【参考】エリア別プロジェクトの体系

※ 黒字は着手済みの事業 赤字は2023年度予算の新規事業等 青字は、新幹線開業後も継続予定の事業

○北陸新幹線

	2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
福井駅	駅舎の整備 ①新幹線駅舎実施設計の完了 ②新幹線駅舎の整備 ③福井市観光交流センターの整備		①新幹線高架下の有効活用
	駅周辺の整備 ①駅西口・東口広場、再開発ビルの整備 ②自然史博物館分館の整備 ③山里口御門・御廊下橋・福の井等の復元 ④天守台跡、散策路の整備 ⑤市道県庁線の再整備 ⑥由利公正広場の整備 ⑦グリフィス記念館の整備 ⑧えちぜん鉄道の高架化 ⑨中央1丁目18番地区(ホテル)の再開発 ⑩中央公園の再整備 ⑪足羽山ビジターセンターの整備 ⑫足羽山公園遊園地「ハピジャン」の整備 ⑬経済界が主体となり、県・市が参画する形で「県都にぎわい創生協議会」の設立 ⑭福井銀行本店ビルの建替え ⑮ハピテラス、中央公園へのプロジェクションマッピングの整備 ⑯中央1丁目10番地区(スーパー跡地)の再開発 ⑰福井城址の活用方策をとりまとめ ⑱県都グランドデザインの策定 ⑲JR福井駅・福井駅西口再開発ビル自転車駐車場のリニューアル	①施設の改修支援や出店に対する相談対応等 ②城址周辺道路等の整備 ③足羽山公園「眺望スポット・駐車場・愛宕橋架け替え」の整備 ④足羽川の賑わい創出・景観維持 ⑤織協ビルの建替え ⑥中央大通り等、道路施設リニューアル ⑦福井駅西口周辺での恐竜コンテンツ整備 ⑧福井城址石垣のライトアップ ⑨福井城址周辺の広場等整備 ⑩中央公園子どもの遊び場整備	①市中心部への都市機能の再集約 ②足羽山公園「園路」の整備 ③四季を通じた自然景観の形成など、足羽山の利活用 ④福井城址の活用方策の実施 ⑤足羽川周辺のにぎわい創出や浜町～愛宕坂～足羽山の磨きあげ、多目的アリーナの整備など、県都グランドデザインの推進 ⑥福井駅前電車通り北地区A街区・B街区の再開発 ⑦福井駅前南通り地区の再開発 ⑧県都まちなか再生ファインドによるリノベーション等支援
	二次交通の整備 ①えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ ②福井鉄道福武線福井駅前線の延伸 ③福井鉄道「市役所前」電停改修、名称変更		①福井駅から主要観光地への特急バスの運行 ②ハピラインふくい、地域鉄道を一体的に組み合わせ、経営とサービスを強化 ③観光利用向けのサービス検討
	周辺の拠点整備 ①一乗谷月見やぐら跡展望所の整備 ②永平寺門前の道路舗装の高質化、商店街の外観統一 ③旧参道、観光案内所の整備 ④永平寺川の護岸改修 ⑤宿泊施設「柏樹閣」の整備 ⑥禅の道(国道364号)の修景整備 ⑦一乗谷朝倉氏遺跡博物館オープン	①特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の再生 ②中世都市遺跡研究の拠点化 ③遺跡の受入環境整備 ④景観に配慮した門前まちづくり整備	①門前地域による事業推進

○北陸新幹線

芦原温泉駅

2022年度時点で終了した事業

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

駅舎の整備

- ①新幹線駅舎実施設計の完了
- ②現駅構内のエレベータ設置
- ③新幹線駅舎の整備

駅周辺の整備

- ①「aキューブ」、ポケットパークの整備
- ②西口立体駐車場の整備
- ③西口賑わい施設、西口交通広場、アクセス道路、東西自由通路の整備
- ④ビジネスホテルの建設

- ①東口交通広場、アクセス道路の整備

- ①周辺観光地との二次交通の充実
- ②駅周辺の賑わい創出

二次交通の整備

- ①あわら温泉ー永平寺間の特急バスの運行

周辺の拠点整備

- ①あわら温泉街の整備
- ②東尋坊周辺の整備、東尋坊活性化の検討
- ③三国湊の町家活用
- ④丸岡城の国宝指定に向けた調査
- ⑤ゆりの里公園の整備
- ⑥道の駅さかい農産物の情報発信ターミナルの整備
- ⑦東尋坊再整備基本計画策定
- ⑧えちぜん鉄道三国駅前広場の整備
- ⑨丸岡バスターミナル周辺の整備
- ⑩丸岡城、天守前広場へのプロジェクションマッピングの整備
- ⑪福井県立大学創造農学科の開設
- ⑫文化財保存活用地域計画の策定
- ⑬越前加賀県境の館の整備
- ⑭吉崎小学校を利用した全天候型遊戯施設「あそぼっさ」の開設
- ⑮みくに龍翔館(新名称:坂井市龍翔博物館)のリニューアル工事

- ①丸岡城周辺のまちなみ整備
- ②道の駅「蓮如の里あわら」の整備
- ③吉崎汀公園場内の改修
- ④蓮如上人記念館の改修
- ⑤宿泊施設の受入環境の整備

- ①首都圏・インバウンド客向けの観光プロモーションの推進
- ②あわら温泉の観光資源の磨き上げに資する環境整備
- ③丸岡城周辺や城下町を含めた城郭全体の歴史的価値を高めるための調査研究の推進
- ④丸岡城と丸岡バスターミナルを繋ぎ、街なか周遊の仕組みと賑わいの創出
- ⑤周辺観光地との二次交通の充実
- ⑥道の駅出荷者協議会の設置
- ⑦丸岡城周辺整備事業
- ⑧ゆりの里公園内(調圧水槽含む)のプロジェクションマッピング及びライトアップの実施
- ⑨東尋坊エリアの再整備(県・市・民間、2020～)
- ⑩東尋坊～雄島～越前松島エリアの観光客受入環境整備(市、2020～)
- ⑪文化財保存活用事業の実施

○北陸新幹線

2022年度時点で終了した事業

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

越前たけふ駅	駅舎の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅舎実施設計の完了 ②新幹線駅舎の整備 		
	駅周辺の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①南越駅周辺整備基本計画の策定 ②南越駅周辺まちづくり計画の策定 ③新幹線駅周辺まちづくりガイドライン策定 ④東西・南北アクセス道路の整備 ⑤駅西交通広場、道の駅等の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ①越前たけふ駅周辺整備の推進 ②道の駅を中心とした駅周辺の賑わい創出
	二次交通の整備	<ul style="list-style-type: none"> ①鯖江市バスロケーションシステムの導入 		<ul style="list-style-type: none"> ①市街地や周辺観光地との二次交通の確保
	周辺の拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ①蔵の辻広場、武生中央公園の整備 ②越前市役所新庁舎・庁舎前ひろばの整備 ③市民プラザたけふの整備 ④武生中央公園屋内催事場の整備 ⑤紫ゆかりの館(旧藤波亭)の再整備 ⑥道の駅「西山公園」の整備 ⑦鯖江駅周辺の景観整備 ⑧サンドーム福井へのデザインセンター等移転 ⑨越前古窯博物館の整備 ⑩紙の文化博物館のリニューアル ⑪越前打刃物振興施設、タケフナイフビレッジの整備 ⑫越前箆笥会館の整備 ⑬今庄宿の整備、旧玉村家の改修 ⑭おもちゃハウスこどもと木、あそびハウスこどもと森、ウッドラボいけだオープン ⑮武生中央線の再整備 ⑯さばえSDGs推進センターの整備 ⑰鯖江駅観光案内所の充実 ⑱ラボーゼかわだの機能強化 ⑲今庄宿の重要伝統的建造物群保存地区選定 ⑳北府駅鉄道ミュージアムの整備 ㉑武生中央公園大型遊具等整備 ㉒ツリーピクニックアドベンチャーいけだの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ①紫式部公園の修景整備 ②里山里海湖等の広域景観の形成 ③志津原「道のオアシスフォーシーズンテラス(仮称)」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①鯖江駅と西山公園などを結ぶ動線づくり ②越前陶芸村活性化施設の整備 ③今庄宿や北前船主の館群などを周遊する観光ルートの形成 ④今川宿の重要伝統的建造物群保存地区選定後の保存活用の推進 ⑤まちなか観光サイン整備 ⑥観光事業会社「SGC池田屋」(仮称)の設立 ⑦特定地域づくり事業協同組合の設立 ⑧サテライトオフィスの誘致 ⑨鯖江駅前線の無電柱化 ⑩溪流温泉冠荘リニューアルプランの策定

○中部縦貫自動車道・北陸自動車道

中部縦貫自動車道		2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
福井北・永平寺IC	産業基盤の整備	①国道364号永平寺インター道路整備		①町道(仮称)永平寺インター線整備
	周辺の拠点整備	①永平寺門前の舗装高質化、商店街の外観統一(再掲) ②旧参道、観光案内所の整備(再掲) ③永平寺川の護岸改修(再掲) ④宿泊施設「柏樹閣」の整備(再掲) ⑤禅の道(国道364号)の修景整備(再掲) ⑥道の駅「禅の里」、えい坊館の整備 ⑦「永平寺町四季の森複合施設」の整備	①えい坊館を拠点にしたツアー等開催 ②松岡公園遊具整備	①永平寺を含む広域的な周遊ネットワーク形成 ②松岡公園の遊具等の整備等機能向上
大野・勝山IC	産業基盤の整備	①国道157号大野バイパスの整備 ②勝山インター線の整備 ③国道416号大日峠道路の整備 ④大野市富田産業団地の整備 ⑤重点道の駅「越前おおの 荒島の郷」の整備 ⑥重点道の駅「恐竜渓谷かつやま」の整備	①道の駅「恐竜渓谷かつやま」エリアへの企業誘致	
	周辺の拠点整備	①野外恐竜博物館、ディノパークの整備 ②ジオターミナルの整備 ③旧料亭花月楼の再生 ④越前禅定道の再整備 ⑤平泉寺地区の景観および散策環境を整備 ⑥越前おおの城下町の再生 ⑦一乗谷・白山平泉寺の日本遺産認定 ⑧六呂師高原活性化構想の策定	①恐竜博物館の機能強化 ②長尾山総合公園施設の整備 ③県立大学恐竜学部(仮称)の開設 ④星空コンテンツの開発 ⑤星空保護区認定に向けた条件整備 ⑥六呂師高原開発計画策定	①自然保護センターの魅力向上 ②南六呂師区における星空保護区の認定後のフォローアップ ③長尾山総合公園の管理運営 ④サイクルツーリズムの推進
九頭竜IC	産業基盤の整備	①特用林産物生産・加工施設の整備		
	周辺の拠点整備	①和泉地区化石保全計画策定 ②平成の湯の再整備 ③化石発掘体験施設の整備 ④恐竜トリックアート、モニュメント制作 ⑤和泉郷土歴史資料館リニューアル ⑥国民宿舎パークホテル九頭竜客室整備 ⑦九頭竜湖駅の装飾	①山の幸などの素材を満喫できるツアーの造成	①和泉エリアでのツアー造成、観光商品開発
北陸自動車道		①南条スマートIC、アクセス道路の整備 ②公園へのプロジェクションマッピングの整備 ③道の駅「南えちぜん山海里」、公園の整備 ④鯖波工業団地の拡張整備	①恐竜のモニュメントの整備 ②収穫体験施設の整備	①鯖江IC高速バスターミナルの機能拡充への取り組み ②南条SAからの周遊観光ルートの形成

○若狭湾エリア

		2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
敦賀駅	駅および駅周辺のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ①交流施設「オルパーク」の整備 ②敦賀駅前広場の整備 ③新幹線駅舎実施設計の完了 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅舎の整備 ②敦賀駅アクセス道路の整備 ③新幹線駅前広場の整備 ④木の芽川の景観維持 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅前広場からの広域二次交通の充実 ②嶺南全域を案内する観光案内施設の整備 ③駅西・駅東のアクセス道路(第2環状道路)の整備
	駅から金ヶ崎への動線整備	<ul style="list-style-type: none"> ①敦賀駅西地区土地活用エリアのサウンディング型市場調査 ②市立博物館の改修 ③キッズパークつるが開館 ④氣比神宮大鳥居修復工事 ⑤シェアサイクルポート整備 ⑥敦賀市駅前立体駐車場の整備 ⑦敦賀港線の景観整備 ⑧本町通りの歩行空間美装化 ⑨敦賀駅西地区「otta」及びちえなみきの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①名勝おくのほそ道の風景地けいの明神(氣比神宮境内)の保存活用検討 ②みなとつるが山車会館の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①市内を周遊する二次交通の充実 ②商業ビル・個店のリノベーション支援
	金ヶ崎周辺整備構想	<ul style="list-style-type: none"> ①赤レンガ倉庫、ランプ小屋の整備 ②クルーズ船の受入設備の整備 ③金ヶ崎周辺施設整備基本計画の策定 ④人道の港敦賀ムゼウムの機能拡充 ⑤金ヶ崎緑地におけるプロジェクションマッピングの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①史跡金ヶ崎城跡の保存活用整備検討 ②鉄道遺産を巡るSLバスの運行 ③金ヶ崎周辺エリアのまちづくり実行プラン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ①民間資本活用によるオーベルジュ等の賑わい創出施設の整備
小浜市附近駅周辺エリア	市街地の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ①三丁町の宿泊施設の整備 ②まちの駅の整備(旧旭座の移転) ③小浜駅のトイレ改修 ④小浜縦貫線(小浜広峰他)の整備 ⑤鯖街道ミュージアムの整備 ⑥三丁町の景観整備 ⑦民宿リニューアル支援事業による古民家・漁家民宿の改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①旧丹後街道の景観整備 ②三丁町の町家等を改修した宿泊施設の整備 ③新たな健康管理センターの整備 ④小浜駅待合室等のリニューアル ⑤市内宿泊施設等の高付加価値化改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①古民家を活用した情報発信拠点の整備 ②小浜西組周辺へのアンテナショップや宿泊施設の整備 ③外国人観光客等の宿泊需要に応じた施設の整備 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ④サテライトオフィスの整備 ⑤小浜ならではの食を提供する店舗の拡大 ⑥小浜縦貫線(大手町他)の整備
	現市街地から新幹線駅周辺のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ①重点道の駅「若狭おばま」の整備 ②若狭おばま周遊レトロバスの運行 ③重点道の駅「若狭おばま」のバスターミナル・レストラン整備 ④重点道の駅「若狭おばま」の機能拡充・全面リニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ①明通寺・鵜の瀬周辺道路の景観整備 ②新幹線駅周辺の整備方針や基本計画および開発計画等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅周辺の開発計画の策定 ②「道の駅」と「まちの駅」、「海の駅」のネットワーク強化 (※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ③新幹線駅周辺の整備

広域若狭湾 交通体系

2022年度時点で終了した事業

- ①国道27号金山バイパスの整備
- ②小浜線10駅でのレンタサイクル整備
- ③嶺南地域公共交通網形成計画の策定
- ④JR小浜線の増便・時間短縮
- ⑤十村駅の整備
- ⑥丹後くろまつ号の小浜線運行

- ①舞鶴若狭自動車道の整備
- ②国道27号金山バイパスの整備
- ③若狭美浜インター産業団地の整備
- ④敦賀南・三方五湖スマートICの整備
- ⑤敦賀市第2産業団地の整備
- ⑥敦賀博多新規航路開設
- ⑦敦賀港将来計画の策定
- ⑧おい町しごろみらい産業団地の整備

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

- ①美浜駅の整備
- ②デマンドバス等の実証運行
- ③コミュニティバスへのICOCA導入

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

- ①広域バス、小浜線を補完するバス等の運行
- ②レストランバスの運行
- ③JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定
- ④駅のバリアフリー化や待合環境整備の検討
- ⑤京都北部との鉄道接続の強化
- ⑥小浜線での観光列車の運行

- ①敦賀港の新航路開拓
- ②敦賀港鞠山南地区の整備
- ③内浦港ふ頭用地の拡張
- ④舞鶴若狭自動車道の4車線化

2022年度時点で終了した事業

- ①道の駅「三方五湖」の整備
- ②縄文ロマンパークの再整備
- ③三方五湖スマートICの整備
- ④三方青年の家艇庫の整備
- ⑤年縞博物館の整備
- ⑥直売所・楽膳レストランの整備
- ⑦日本農業遺産の認定
- ⑧山頂公園等の整備
- ⑨「園芸LABOの丘」の整備
- ⑩電池推進遊覧船の実証実験
- ⑪農業人材育成拠点施設(観光農園)の整備
- ⑫嶺南地域の結婚・婚活拠点の整備
- ⑬レインボーラインにおけるレストラン・売店等の整備
- ⑭駅前線(美浜)の整備
- ⑮電池推進遊覧船発着施設の整備
- ⑯三方五湖有料道路の再整備・無料開放

- ①ハーバルビレッジの観光山野草園、ビジターセンターの整備
- ②ハヶ峰家族旅行村の再整備
- ③きのこの森体験学習施設の整備
- ④頭巾山青少年旅行村の再整備
- ⑤はまなすパーク施設整備
- ⑥地域づくり拠点化施設(「若狭美浜はまびより(道の駅)」)の整備
- ⑦サイクリングロード・ウォーキングコース整備、サイクルツーリズムの推進

- ①滋賀県・京都府との3府県連携観光促進協議会の設置
- ②美浜町新庄地区のトレッキングコース整備
- ③西の鯖街道および「ハヶ峰～頭巾山」のトレッキングコース整備

2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業

- ①観光施設駐車場の混雑情報配信の支援

当該プロジェクト終了後も継続予定の事業

- ①自然学習・体験の充実による教育旅行誘致
- ②ナショナルサイクルルートの指定を目指したルート整備

(※大阪開業頃までに実現を目指す施策)

- ①インバウンドにも対応したリゾートエリアの形成
- ②赤礁崎オートキャンプ場の魅力向上
- ③ブルーフラッグ認証ビーチの発信、誘客への活用
- ④城山公園の再整備
- ⑤脇坂公園の整備
- ⑥中寄眺望広場の整備
- ⑦白浜グランピング施設の整備
- ⑧おおい町総合運動公園の合宿施設の拡充

- ①北前船寄港地との広域観光拡大
- ②コンベンションの誘致

	2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業	
広域若狭湾	フード・コースト形成	<ul style="list-style-type: none"> ①ハーバルビレッジの観光山野草園、ピジターセンターの整備(再掲) ②葉草加工施設等の整備 ③植物工場の整備 ④大規模園芸施設の整備 ⑤観光農園の整備(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ①植物工場の整備 ②スマート園芸施設の整備 	
		<ul style="list-style-type: none"> ①水産加工施設(敦賀市)の整備 ②熟成魚等の生産加工施設整備 ③食文化館の再整備 ④旧田島小学校を活用した加工・体験施設の整備 ⑤ふくい水産振興センターの整備 ⑥「若狭ぐじ」や「越前がれい」のプレミアムブランドを創出 ⑦「ふくい甘えび」のブランド化 ⑧6次産業施設「UMIKARA」の整備 		<ul style="list-style-type: none"> ①高浜漁港の再整備 ②福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備 ③養殖イワガキのブランド化 ④ウナギ漁獲量拡大に向けた放流調査
	学術・研究拠点	<ul style="list-style-type: none"> ①里山里海湖研究所の設置 ②国際原子力工学研究所の敦賀市への移転 ③アジア原子力人材育成会議の開催 ④年縞博物館の整備 ⑤ハーモニアスポリス構想の策定 ⑥次世代エネルギーパークの認定 	<ul style="list-style-type: none"> ①国際シンポジウムの誘致(※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ②新たな試験研究炉の整備に着手 	
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ①園芸カレッジ開講 ②かみなか農楽舎の開設 ③漁業集落の活性化 ④福井県立大学創造農学科の開設 ⑤農業人材育成拠点の整備 ⑥チャレンジショップの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①食の学校における食関連産業の担い手育成 ②福井県立大学先端増養殖科学科の開設準備(再掲) ③観光地域づくりプレイヤーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①水産カレッジの開講 ②水産学術拠点で育成した人材の地元定着
	定住戦略	<ul style="list-style-type: none"> ①三丁町や旧丹後街道の街路整備、電線地中化等の実施 ②熊川宿にシェアオフィス「菱屋」を整備 ③移住交流体験施設や体験農園の整備 ④敦賀市立看護大学に大学院・助産学専攻科を設置 ⑤こども家族館のリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> ①熊川宿の古民家改修 ②IT・サービス業などの企業誘致 ③熊川地区グランドデザインの策定、プロジェクトの推進 ④住民と地域内外の大学生との協働による地域づくりプロジェクト ⑤メガソーラーや水素ステーションを活用したVPP実証 ⑥VPPと連動したEVカーシェア実証 	<ul style="list-style-type: none"> ①スマートタウン等の整備(※大阪開業頃までに実現を目指す施策) ②駅に近接した子育て支援施設や医療機関等の整備 ③嶺南地域における「スマートエリア」の形成

○広域プロジェクト・ソフト施策

	2022年度時点で終了した事業	2024年3月時点(新幹線開業)で終了見込みの事業	当該プロジェクト終了後も継続予定の事業
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ①えちぜん鉄道と福井鉄道の相互乗入れ ②福井鉄道福武線福井駅前線の延伸 ③福井市内循環鉄道の調査 ④えちぜん鉄道の高架化(再掲) ⑤北陸本線へのICOCAの導入 ⑥並行在来線新駅設置可能性調査 ⑦福井県並行在来線経営計画策定 ⑧福井県並行在来線地域公共交通計画策定 ⑨並行在来線新駅設置に向けた測量・設計(王子保・武生間) 	<ul style="list-style-type: none"> ①デマンドバス等の実証運行(再掲) ②嶺北地域交通計画の策定 ③路線バスへのICOCA導入 ④並行在来線新駅設置に向けた詳細設計(王子保・武生間) ⑤ハピラインふくい観光列車導入調査 ⑥えちぜん鉄道 恐竜列車の導入 ⑦福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの改修 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線駅からの二次交通の確保 ②JR小浜線の増便・利便性の高いダイヤ設定(再掲) ③JR越美北線の利便性の高いダイヤ設定 ④小浜線での観光列車の運行 ⑤福井鉄道、えちぜん鉄道へのICOCA導入 ⑥福井鉄道 ドイツ製車両レトラムの運行 ⑦えちぜん鉄道 恐竜列車の運行
里山里海湖ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ①小規模農業者チャレンジ応援基金造成 ②ふくい農業ビジネスセンターの設置 ③ふくい林業研修センターの整備 ④農遊コンシェルジュの認定 ⑤新たなトレイルコースの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①観光地と農村を回遊する仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①里山里海湖ビジネスを企画・運営する人材の育成 ②ふくいワインカレッジの開講 ③農村を回遊する取り組みの ④オーベルジュの誘致
歴史・文化財	<ul style="list-style-type: none"> ①ユネスコ無形文化遺産「和食」の登録 ②日本遺産「御食国若狭と鯖街道」、「北前船寄港地・船主集落」、「越前焼(六古窯)」、「中世・近世のまちづくり」、「鉄道遺産」の認定 ③日本農業遺産「三方五湖の汽水湖沼群漁業システム」認定 	<ul style="list-style-type: none"> ①一乗谷ミュージアム化の推進(再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> ①無形文化遺産の登録申請 ②大河ドラマや朝の連続テレビ小説の誘致
景観	<ul style="list-style-type: none"> ①福井ふるさと百景の設定 ②伝統的民家群保存活用推進地区の設定 ③ふくいふるさと音風景の募集 ④福井ふるさと広域景観軸の設定、広域景観ガイドラインの策定 ⑤屋外広告物の規制強化 ⑥国体に向けた花の景観づくり ⑦「越前海岸の水仙畑」の重要文化的景観選定 ⑧新幹線から見える大景観、新幹線を眺めるビュースポット(視点場等)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①里山里海湖等の広域景観の形成 ②新幹線開業に向けた花の景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①新幹線開業後の花の景観づくり